

第三十七回 帝國議會 貴族院議事速記録第十四號

大正五年二月二十三日(水曜日)

午前十時五分開議

議事日程 第十四號 大正五年二月二十三日

午前十時開議

- 第一 大正五年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)審查
期限ヲ定ムルノ件
- 第二 大正五年度歲入歲出總豫算追加案(第二號) 會 議(委員長報告)
- 第三 大正四年度歲入歲出總豫算追加案(第二號) 會 議(委員長報告)
- 第四 大正四年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號) 會 議(委員長報告)
- 第五 外國債ノ整理償還ノ爲内國債ヲ發行スルコトニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第六 重要物產同業組合法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第七 明治四十年法律第十一號中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第八 賣藥法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第九 製鐵事業調查機關設置ニ關スル建議案(伯爵松平賴壽君外十名發議) 會 議
- 第十 擊沈船奈古浦丸被害者救恤ノ請願 會 議
- 第十一 島根縣美濃郡東仙道村ニ郵便局設置ノ請願 會 議
- 第十二 廣島江津間鐵道速成ノ請願 會 議
- 第十三 漁港及漁船避難港修築國庫補助ニ關スル請願 會 議
- 第十四 旭川區裁判所東旭川出張所設置ノ請願 會 議
- 第十五 福岡地方裁判所久留米支部權限復舊ノ請願 會 議
- 第十六 福島地方裁判所若松支部權限復舊ノ請願 會 議
- 第十七 北海道紋別郡上湧別村ニ登記所設置ノ請願 會 議
- 第十八 鮮魚賣買ニ關スル特別法制定ノ請願 會 議

- 第十九 青森縣西津輕郡木造町ニ區裁判所新設ノ請願 會 議
- 第二十 海流調查實行ニ關スル請願 會 議
- 第二十一 岡山縣後月郡木之子村ニ郵便局設置ノ請願 會 議
- 第二十二 京都府船井郡五ヶ莊村ニ無集配郵便局設置ノ請願 會 議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

- 一昨二十一日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ
簡易生命保險法案外一件特別委員會
委員長 伯爵林 博太郎君 副委員長 子爵前田 利定君
同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
重要物產同業組合法中改正法律案可決報告書
明治四十年法律第十一號中改正法律案可決報告書
請願文書表第九回報告書
請願委員會特別報告第五號
昨二十二日議員伯爵松平賴壽君外十名ヨリ八十名ノ贊成ヲ以テ製鐵事業調查機關設置ニ關スル建議案ヲ發議セリ
同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ
商業會議所法中改正法律案特別委員會
委員長 伯爵松 浦 厚君 副委員長 男爵郷 誠之助君
同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
大正五年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)可決報告書
大正四年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)可決報告書
大正四年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)可決報告書
賣藥法中改正法律案可決報告書
同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ
大正五年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)
外國債ノ整理償還ノ爲内國債ヲ發行スルコトニ關スル法律案
同日衆議院ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ
高等試驗法案

裁判所構成法中改正法律案

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、一昨日議長ニ御委託ニ相成リマシタ罹災救助基金法中改正法律案ノ特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔河井書記官朗讀〕

罹災救助基金法中改正法律案特別委員

伯爵島津 忠麿君 子爵松平 承承君 子爵榎本 武憲君
子爵八條 隆正君 江木 千之君 男爵黒田 長和君
藤田 四郎君 南 弘君 木本 源吉君

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程ニ入リマス前ニ諸君ニ御諮リヲ致スコトガゴザイマス、簡易生命保險法案ノ特別委員長林伯爵ヨリ特別委員會ヘ退席ノ要求ガゴザイマシタ、許可ヲ致シマシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、第一、大正五年度特別會計歳入歳出豫算追加案特第二號審査期限ヲ定ムルノ件、本日モ通牒文ノ朗讀ハ省略イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔左ノ送付文ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

(特第二號)大正五年度特別會計歳入歳出豫算追加案
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正五年二月二十二日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 此豫算追加案竝ニ次ノ日程ニ出テ居リマスル外國債借換ノ爲ニ内國債ヲ募集スルノ法律案、何レモ此時局ニ對スル必要ノコト

ト政府ハ信ジマシテ提出イタシマシタ所、既ニ衆議院ヲ通過イタシテ參リマシタニ依ッテ、尙ホ審議ヲ盡サレテ協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス
○男爵目賀田種太郎君 本員ハ大藏大臣又ハ總理大臣ニ質問イタシタイノデアリマスガ、出席サレルデアリマセウカ

○議長(公爵徳川家達君) 總理大臣ハ發熱サレマシテ、出席不可能ノ趣デアリマス

○男爵目賀田種太郎君 大藏大臣ハ總理大臣ニ代ッテ本員ノ御尋ニ付テ答辯サレルデゴザイマセウカ

○議長(公爵徳川家達君) 唯今大藏大臣ガ總理大臣ニ代ル譯ニハ參ラヌガ、質問ニ依リマシテ答辯セラレル趣デアリマス

〔男爵目賀田種太郎君演壇ニ登ル〕

○男爵目賀田種太郎君 本員ハ總理大臣ニ伺ヒタイノデアリマスガ、大藏大臣ハ大體總理大臣ト同一ナル意味ヲ以テ衆議院ニ於テ答辯セラレテ居リマスルカラ、定メテ本員ガ問ハムトスル所ハ大藏大臣ニ於テ御答アルト存ジマスルガ故ニ伺ヒマス、總理大臣ガ去ル十八日衆議院ノ豫算ノ分科會ニ於キマシテ申サレマスルニ、貴族院ト妥協シタト云フヤウナコトハ誤解デアル、斯ウ言ハレテ居リマスル、又更ニ或ル閣員ガ別ニ内閣ヲ代表シテ云々ノコトハ私ハ少シモ承知イタサズト言ハレテ居リマス、矢張り大藏大臣モ同一ノコトヲ言ハレテ居ルノデアリマス、是ハ如何ナル意味デアルカ、ソレヲ私ハ伺ヒタイノデアリマス、別ニ敢テ總理大臣ヨリ伺ハズトモ同一ナルコトヲ大藏大臣モ述ベテ居リマスカラ、寔ニ簡單ナコトデアリマスルガ故ニ御問イタスノデアリマス、全體妥協ト云フコトハ如何ナル譯デ之ヲ憚レルノデアアルカ、從來既ニ此帝國議會ノ經過ニ於テ同一ナルコトガ存在イタシテ居ル、國家ノ大局ニ顧ミテ豫算ノ成立ヲ希望シ、爲ニ或ル方法ヲ以テ此問題ヲ解決イタシタト云フコトニ外ナラヌノデアリマス、然ルニ總理大臣ハ又斯ウ云フコトモ言ハレテ居ル、貴族院ニ於テ豫テ國債整理基金ニ付テノ主張ハ棄テタノデアアル、拋棄シタノデアアルト云フコトモ言ハレテ居リマスルガ、一向拋棄ハシテ居ラヌト思フノデアアル、ソレニ對スル主張ハ依然トシテ存在シテ居ル、唯此際或ル方法ヲ以テ此問題ヲ解決スルト云フコトニナッタモノト思ヒマス、是レ即チ妥協デアッテ別ニ憚ル所ハナイト思ヒマス、但本員等ノ如キハ其條件ニ付テ大ニ異存ヲ有シテ居ルノデアリマス、右ノ衆議院ニ於ケル大藏大臣及總理大臣ノ

御説明ノ意味ハ如何デアルカ、之ヲ伺ヒタイト存ジマス、ソレカラ又大藏大臣ハ此別案ノ法律、即チ之ニ對シテ生ズル此豫算ノ要求ニ基キ期限ノ切迫シタル公債ヲ早ク返サネバナラスト云フコトヲ言ハレテ居ル、ソレハ確カニ御記憶デアラウト存ジマス、先ヅ期限ノ切迫シタルモノヲ急ガネバナラスト云フコトヲ言ハレテ居リマスルガ、然ルニ更ニ考ヘマスルノニ其期限ノ切迫シテ居ルト云フノハ大正十四年度ニ於ケル四分半利ノ英貨公債ノコトデゴザイマス、今ヨリ八九年先キノコトデアツテ、別ニ期限ハ切迫シテ居ラヌノデアリマス、ソレニ付テ未ダ期限ガ切迫シテ居ラヌト云フコトハ矢張りソレニ反對シタコトハ昨年ニ於テハ申サレテ居ル、昨年ニ於テハ此度ハ佛貨國庫債券ノ方ヲ買入レル、是ハ期限モ近ヅイテ居ルガ、英貨公債ノ方ハ期限ハ近ヅイテ居ラナイシ、サウ云フコトヲ今行フノハ不可能デアルト云フコトヲ十二月二十二日、若クハ二十九日ニ於テハ言ハレテ居ル、一ト月モ經タザルニ今度ハソレハ可能デアル、又期限ガ近ヅイテ居ルト言ハレマスルガ、餘リニ遠イ話ノヤウニ存ジマス、ソレハ如何ナ御意味デアルカ、非常ニ前後違ッテ居ルヤウデアリマス、財務當局ノ言トシテハ甚ダ了解ニ苦シムノデアリマス、ソレカラ又佛貨國庫證券ノ買入ヲナシテ、即チ三千八百萬圓ニ當ル所ノモノヲ買入レムトシ、又更ニ本案ノ二千萬圓ノ公債ヲ借換ヲシ、加之同時ニ露國藏券ト云フモノヲ引受ケテ居ル、是ハ尙ホ私ノ申シマスルノハ將來ニ於テ増サムトスルモ減ズルコトハナイ、ソレハ全ク今日露國トノ貿易ノ結果デアリマスカラ、貿易ガ發展スルニ從ッテ益々藏券ノ引受ハ將來生ズラウト思ヒマス、今日ノ市場ニ於テ斯ノ如ク資金ノ供給ヲ求メテ差支ナイト云フ御考デアリマスカ、之ヲ一ツ承リタイト思ヒマス

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 目賀田男爵ノ御尋ニ御答ヲ申上ゲマス、前段ノ御尋ハ政府ハ妥協ト云フコトヲ何故ニ憚ルカト云フ意味ノヤウニ承リマシタガ、政府ハ別ニ妥協ト云フコトヲ憚ル譯デハアリマセヌ、併ナガラ政府ト貴族院ト妥協ヲシタト云フ事實ハナイノデアリマス、貴族院全部若クハ貴族院全部ヲ代表スル人ト何等約束ヲシタコトモ交渉ヲシタコトモアリマセヌ、ソレ故ニ妥協ト云フ事實ハナイト云フコトヲ申シタノデアリマス、前段ノ御尋ハ是デ分ルカト存ジマス、其次ノ即チ後段ノ御尋ハ英貨公債ノ買入ガ困難デアルト云フコトヲ先キニ申シテ、今ハ又英貨公債ノ買入ガ容易ニ出來ルヤ

ウニ大藏大臣ハ言フト云フヤウナ御説ノヤウデアリマシタガ、此英貨公債ノ買入ガ困難デアルト云フコトハ先頃モ今日モ變ハリハゴザイマセヌ、矢張り一年度内ニ三千萬圓ノ買入ガ先ヅ精一バイノ所デ、其以上ノ買入ハ頗ル困難デアルト云フコトハ今日モ考ヘテ居リマス、併ナガラ縦シ買入ガ出來ナクテモ、之ヲ有利ニ運用スル方法ハアルノデゴザイマスカラ、此時局ノ影響デ激増スル正貨ヲ利用スルコトハ今日ハ逸スベカラザル機會デアリマス、此機會ヲ利用シテ內國債ヲ募集シテ、外國債ヲ減少スル手段ヲ執ルト云フコトハ今日最モ急務ト存ズルノデアリマス、買入ノ困難ト云フコトニハ更ニ前日モ今日モ當局者トシテハ變ハリマセヌ、變タ考ヲ有ッテ居リマセヌ、併ナガラ此機會ハ逸スベカラザル機會デゴザイマスカラ、此機會ヲ利用シテ對外債務ノ減少ヲ計ルト云フコトハ急務ト信ジテ此案ヲ提出シタ譯デアリマス

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 此事ニ付テ公式ニ申上グベキコトハ、先日豫算委員ノ第一分科會ニ於テ大藏大臣タル私ガ内閣ヲ代表シテ、政府ハ斯様斯様ノ計畫ヲ有ッテ居リマス、其事ハ不日豫算案其他ノ法律案ヲ提出スル積リデアルト云フコトヲ言明シタノガ、即チ公然タル事實デアリマス、其以外ノコトハ茲デ私ノ御答スル限りデナイト思ヒマス

○男爵目賀田種太郎君 委員長

○議長(公爵徳川家達君) 委員長トハ何ノコトデス

○男爵目賀田種太郎君 間違ヒマシタ、議長

○議長(公爵徳川家達君) 目賀田男爵

○男爵目賀田種太郎君 唯今ノ御答ハ本員ニ對シテハ足ラスト存ジマス、本員ハ豫算委員會ニ於テノ大藏大臣ノ或ル御發言ヲ伺ッタノデアリマセヌ、其前ニ妥協ニ付テノ御説明ニ、或ル閣員ガナシタルコトデ内閣ハ知ラスト云フ御説明デアリマシタ、然ラバ其閣員ハ恣ニナシタノカト云フコトヲ伺ッタノデアリマス、ソレニ對シテ説明ヲ得タイノデアリマス、殊ニ此事ハ姑ク措キマシテ、現ニ彙ニ軍器ノ賣却問題ニ關シテ總豫算ノ會議中ニ於テ總理大臣ハ豫算委員長ニ面會ヲ求メラレ、種々其解決ノ途ヲ計ラレタコトガアルデアリマ

セスカ、矢張り同ジ方法ニ依ッテ本案ニ關シテモ協議ヲ致サレタコトト本員ハ思ッテ居リマス、ソレガ恣ニナシタコトデアルヤ否ヤ、内閣ノ一員ト仰セラレマスケレドモ、總理大臣モ時ニハ矢張り其妥協ニ關係セラレタコトニ相違ナイノデアリマス、總理大臣モ恣ニセラレルカ、何分大藏大臣ノ唯今ノ御辯明ハ本員ニハ分リマセヌ、尙ホ詳シイ御説明ヲ得タウゴザイマス、又其他ノ公債ニ關スル御説明モ本員ハ了解イタシマセヌ、是ハ又更ニ伺ヒマス、前段ノコトヲ尙ホ伺ヒタウゴザイマス

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 毎度御尋デゴザイマスルガ、公式ニ政府ガ言明ヲ致シマシタ事柄ニ付テハ幾度デモ御答ヲ申上ゲマスガ、其他ノコトハ御答ヘ申ス限リデハナイト存ジマス

○石渡敏一君 大藏大臣ニ質問イタシテ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマスルノハ、外國債整理償還ノ爲ニ内國債ヲ發行スルコトニ關スル法律案ト云フモノヲ今日提出サレマシタ、是ハ國債整理基金特別會計法五條ヲ改正シナイデ、斯ノ如ク特別法ヲ出サレタ意味ハドウ云フ所ニアルノデゴザイマスカ、是ガ一點デアリマス、今一點ハ大藏大臣ハ正貨ガ激増シタガ爲ニ外國債銷却ノ爲ニ内國ニ於テ公債ヲ募ル、斯ウ云フ唯今ノ御説明デアリマシタ、是ハ唯今マデ大藏大臣ノ言明セラレタ所トヒドク違フヤウニ私ハ考ヘマス、本月ノ初メニ於テ大藏大臣ハ三千八百萬圓ト、減債基金ニ依ル三千萬圓ト、我々ガ主張シマシタ所ノ二千萬圓ヲ還ス、都合九千萬圓ホド還シテハ餘リニ公債ヲ還シ方ガ餘計過ギル、内國ノ經濟ヲ破ルト云フコトノ御説明デアリマシタ、ソレハ本月初メノ分科會ニ於テノ御説明デアッタ、然ルニ今日デハソレト反對ニ正貨ガ激増シタガ爲ニ二千萬圓公債ヲ募ッテ外國債ヲ還サナケレバナラヌト、斯ウ云フノデアリマス、私ノ質問シタイ所ハ何時カラ、ナンドキカラスノ如クニ正貨ガ激増シタカト云フコトヲ承リタイト思ヒマス

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 第一ノ御尋ハ國債整理基金法ノ改正ヲナサズシテ單行法案ヲ出シタノハドウ云フ譯デアアルカト云フ御尋ト存ジマス、是ハ此單行法案デ今日ノ急ニ應ズルダケハ出來ルト云フ考カラ此案ヲ出シタノデアリマス、今日ノ必要ハ縱令計算上多少ノ不利ヲ免レズトモ、又ハ多少高利ノ借替公債ヲ募集スルトモ、外國ニ對スル債務ヲ減少スル必要ノ爲ニハ致方ガナ

イト云フ狀況デゴザイマスカラ、此基金法第五條ニ計算上有利ナリト認ムル場合ニハ低利云々ト云フ此規定ノ除外ヲ設ケサヘスレバ今日ノ急務ニ應ズルニ足ルノデアリマス、ソレ故ニ此基金法ノ改正ト云フ手段ヲ執ラズシテ、目下ノ目的ヲ達スルダケニ此單行法案ヲ提出シタ所以デアリマス、ソレカラ次ノ御尋ハ前日マデハ三千八百六十萬圓ノ内國債ヲ募集シテ外債ヲ償還スルコト以上ニ公債ヲ募集スルヤウナコトヲシテハ財政ヲ破ルト云フコトヲ大藏大臣ハ申シタト言フガ、左様ナコトヲ申シタコトハゴザイマセヌ、速記録ヲ御覽下サレバ無イ筈ト信ジマス、是以上ニ二千萬圓ノ公債ヲ募集シテ外國債ヲ借替スルト云フコトハ熟慮ヲ要スルコト云フコトヲ度々申上ゲテ置イタノデアリマス、即チ其時マデハ此事ヲ申上ゲルマデ熟慮ヲ要スル、果シテソレダケノ内債ヲ募集シテ外國ニ仕拂ヒマスル利害如何ト云フコトハ餘ホド考ヘ物デアルト云フコトヲ申上ゲテ置イタノデ、即チ其時マデハ實際考ヘ物デアッタノデアリマス、併ナガラ其後ノ事情ニ依リマスルト二千萬圓ヤソコラノ内債ヲ募集シテモ、今後激増スル正貨ト云フモノハ豫想外ニ増加スル見込デゴザイマスシ、經濟狀態ニ惡影響ヲ及ボスヤウナコトハナイ、寧ロ此儘抛ッテ置ケバ却ッテ正貨激増ノ爲ニ通貨ノ膨脹ヲ來タシ、或ハ物價ノ騰貴ヲ來タシテ經濟界ニ惡影響ヲ及ボス虞ガアリマス、ソレ故ニ此案ヲ提出シタ所以デアリマス

○石渡敏一君 第一點ノ法律ノ點ニ關シマシテハ大藏大臣ハ單行法ハ一時ノ急ヲ救フ爲ニ出シタト云フ御話デゴザイマスガ、サウ致シマス、斯ノ如ク單行法ニシテ置イテモ、亦國債整理基金會計法ノ第五條ヲ改正シテモ、ドチラデモ宜イト云フ御考ノヤウニ考ヘラレル、單行法デナケレバナラヌト云フ理由ハ一モ見出サナイモノト私ハ信ジテ居リマス、ドチラデモ宜イト云フ御考デアルト云フコトニ承知シテ居ル、又第二點ノ方ニ付テハ甚シイドウモ御説ト私ハ伺ヒマス、成ルホド豫算委員會……豫算分科會デハナイ、豫算委員ノ豫算會ニ於テノ御説明ハ、唯今ノ御話ノ如クニ言ハレタコトヲ私ハ承知シテ居ル、二千萬圓ヲ募集スルコトハ困難デアアル、寧ロムヅカシイノデアルト云フコトマデモ、仕舞ニ御言葉ヲ添ヘタト私ハ考ヘテ居ル、ソレヨリ分科會ニ移ッテカラノ御話デアルト、田男爵カラノ質問ニ答ヘラレタ結果、大藏大臣ハ此數字ヲ舉ゲテ三千八百六十萬圓ト、都合九千萬圓バカリデアリマス、ソレカラ後ニ減債基金ノ三千万圓ヲ加ヘマシテ其上ニ尙ホ二千萬圓ヲヤッテハ九千万圓ホド

ノモノデ、還シ過ギルト云フコトヲ御答ニナッタノヲ御忘レニナッタコトハナカラウト私ハ思フ、是ハ事實ノ問題デゴザイマスカラシテ、委員會ハ何レノ委員會カ知リマセスガ、私モソコヘ飛入ヲシマシテモ、此點ダケハ一ツ大藏大臣ニ速記録ヲ御覽ニ入レマスカラシテ、其時ニ御話ヲ一ツ打割ッテ致シタイト存ジマス、今日ハ是ダケニシテ置キマス

〔男爵高橋是清君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 高橋男爵ニ伺ヒマスガ、議事日程第一ノ豫算追加案ニ關スル質問デアリマスカ

○男爵高橋是清君 左様デゴザイマス、是ハ私ハ第五ノ件ニ付テ質問ヲ致シタイト思ヒマシタガ、先刻大藏大臣ハ此第一ノ御説明ニ第五モ併セテ必要ノ問題ナリト云フノ御説明ニナリマシタ、而シテ是マデ段々皆サンカラノ御質問ニモ、矢張り此外國債ノ整理償還ト云フ問題ニ關シテ御質問ガアリマスカラシテ、私ノモ矢張りソレニ關聯ヲシテ居ル、矢張り此第一ト第五ト詰リ兩方絡マッテ居ルノデアリマスカラシテ、此際ニ於テ大藏大臣ニ質問ヲ致シタイ考デアリマスガ、如何デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 先刻目賀田男爵並ニ石渡君ニ質問ヲ許シマシタノデゴザイマスガ、議事ノ整理上如何デゴザイマスカ、第一ノ豫算追加案ノ審査期限ヲ定ムルノ件ト云フノガ決ッテ、第二、第三、第四ヲ了リマシテカラ、第五ノ所デ十分御質問ニナッタ方ガ都合ガ宜カラウト考ヘマスカラ左様ニ願ヒタク存ジマス

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○男爵高橋是清君 議長ノ御考ニ委セマス

○水野鍊太郎君 唯今此第一ハ第五ノ議事日程ト關聯シテ居リマスケレドモ、免ニ角第一ノ方ハ審査期限ヲ定ムルノ件デアアルカラシテ、審査期限ヲ定ムルコトガ決定シ、而シテ第二、第三、第四ヲ了リマシテ、即チ第五ニ至ッテ質問ヲシタラドウカト云フ議長ノ御考デアッタヤウニ思ヒマス、ソレハ了承イタシマシタガ、此際私ハ第一ノ詰リ豫算案ノコトニ付テ質問ヲ致シタイノデゴザイマスガ、ソレハ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 第一ノ豫算追加案ニ對スル純粹ノ御質問ナラバ無論差支ナイ……

○水野鍊太郎君 ソレデハソレニ付テ簡單ニ質問イタシタイノデアリマス、

此案ハ申スマデモナク、二千萬圓ノ公債ヲ募集シ、而シテ之ヲ減債基金ニ繰入レテ英貨債券ヲ償還スル案デアアルノデアリマス、之ニ付テ伺ッテ置キタイノデアリマスガ、既ニ同ジ性質ノ追加豫算ト云フモノガ此點ニ付テ此度二ツ出テ居ル、即チ公債募集並ニ國債基金繰入ニ關スル同ジ形ノ追加豫算案ガ二ツ出テ居ル、固ヨリ内容ハ變ッテ居ル、金額モ變ッテ居リマス、ケレドモ全ク形ニ於テ同一ノ案ガ二ツ出テ居ルノデアリマスカラ御伺ヒ致シタイノハ、何故ニ此度ノ二千萬圓公債募集案ヲ斯ル時期ニ於テ御提出ニナッタカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、内容ノ可否得失ト云フコトニ付テハ私ハ別ニ意見ヲ有ッテ居リマス、其事ヲ聞クノデハナイ、何故ニ斯ル案ヲ咄嗟ノ間ニ御提出ニナッタカト云フコトヲ御聞キ致シタイノデアリマス、之ニ付キマシテ先程目賀田男爵カラシテ政府ト貴族院トノ間ニ妥協ナルモノガアッタノデハナイカト云フヤウナコトニ付テノ御質問ガアリマシタガ、此事ハ私ハ之ヲ聞クコトハ甚ダ快クハ思ハナイ、ケレドモ一度サウ云フ問題ガ出マシタ以上ハ、是ハ他日ノ爲ニ明カニシテ置クト云フコトガ議院ノ歷史上カラ申シマシテモ、又議事録編輯ノ上カラ申シテモ必要ナコトト思ヒマスルガ故ニ、一應此事ニ付テ更ニ御確メ致シテ置キタイト思フノデアリマス

〔副議長侯爵黒田長成君議長席ニ著ク〕

此問題ノ出マシタノハ、謂ハユル公式ニ出マシタノハ第一分科會ノ審査ヲ決定スルノ日デアッタノデアリマス、私モ其委員ノ一人デアリマシタカラ能ク承知シテ居リマスガ、第一分科ノ審査ヲ決定セムトスルニ當リマシテ、委員ノ一人即チ其當時ノ主査カラシテ大藏大臣ノ意見ヲ伺ッタノデアリマシタ、所ガ大藏大臣ハ此事ヲ明言ナサレタ、政府ハ不日二千萬圓公債募集金ノ豫算ヲ提出スル、サウシテ是ハ英貨公債償還ニ充テルノデアアル、ト同時ニ又法律案ヲ提出シ、其法律案ノ内容ハ本日ノ議事日程第五ニアルノト全ク同一ノ内容ヲ有ッテ居ル案デアアル、之ヲ提出スルノデアアルト云フコトヲ御示シニナッタノガ、是ガ稱シテ謂フ所ノ公式ノ御言明デアッタ、併ナガラ是ハ新聞紙上ナドデ傳ヘテ居リマスルコトハ妥協豫算案、妥協法律案ナドト云フコトヲ公然言ウテ居ル、茲ニ於キマシテカ、私ハ目賀田男爵ガ之ヲ御質問スルノ已ムヲ得ザルニ至ッタノデハナイカト思ヒマスカラ、此事ガ議場デ出マシタカラ私ハ已ムヲ得ズ大藏大臣ニ伺ハナケレバナラスコトニナッタノデアリマス、事實ハドウ云フノカト申シマスレバ固ヨリ貴族院ト政府ト妥協シタト云フコトハ私ハ認メマ

セヌ、貴族院ノ決議ニ依テ之ヲ妥協シタノデハナイ、故ニ例ヘバドナタトドナタガ御交渉ニナツタカハ知レマセヌガ、是ハ決シテ貴族院ト政府ト妥協ニナツタノデハナイト云フコトハ全ク大藏大臣ノ言フ所ニ御同意デアリマス、併ナガラ貴族院ノ或ル部分ノ人ト、政府ノ閣僚ノ或ル一部カ幾人カノ間ニ話合ニナツタト云フコトハ私ハ事實ト言ハナケレバナルマイト思フ、而シテ其趣旨ハ若シ我々ガ主張シテ居リマシタガ如ク一般會計ヨリ鐵道特別會計ニ繰入レル所ノ二千萬圓ヲ削除シマシタナラバ、或ハ豫算ガ不成立ニナルカモ知レヌ、是ハ誠ニ國家ノ爲ニ不祥ト言ハナケレバナラナイノデアアルカラ、成ルベク豫算ヲ成立セシムル方法ヲ執リタイト云フコトヲ考ヘタノハ貴族院ノ全部デハナイカドウカハ別デアリマス、免ニ角サウ云フ考ガ貴族院議員ノ多數ノ頭ニアツタノハ事實デアリマス、政府モ亦之ヲ望ムト云フコトモ事實デアリマセウ、併ナガラ唯徒ラニ貴族院ハ平素、昨年来考ヘテ居タコトヲ拋棄スル譯ニ行カナイノデアリマスカラ、何トカ從來我々ノ考ヘタコトニモ廉ヲ立テ、又政府ニ於テモユライ迷惑デナイ範圍ニ於テ豫算ヲ成立セシムルナラバ、是ハ國家ノ爲ニモ良イコトデアリ、又我々政治上カラ申シマシテモ宜カラウト云フヤウナ考ガ、必ズヤ私ハ貴族院ノ或ル部分ノ人ト政府ノ或ル部分ノ人トノ間ノ頭ニアツタノデアラウト思フ、其結果ト致シマシテ、若シ斯ル豫算ヲ出シ、斯ル法律案ヲ出サレタナラバ一般豫算ニハ何等ノ手ヲ著ケズシテ其儘ニ通過シ得ルコトデアラウト云フ所ノ協定ガアツタコトデアラウト考ヘル、而シテ其事タルヤ、決シテ事柄ヲ惡イト云フデハナイ、固ヨリ豫算ノ成立ヲ望ムノデアアル、又時ニ依リマシテハ貴族院ト政府ト妥協譲シテ國政ヲ圓滿ニ進行セシムルト云フコトハ是ハ私ハ必シモ惡イコトトハ思ハナイ、立憲政治ニ於テハ妥協ハ必要デアルト云フコトヲ申シマスケレドモ、時ニ依テ妥協ノ必要ナコトモアル、之ニ依テ國政ガ圓滿ニ進行スルナラバ必シモ敢テ非トスル所ハナイノデアリマス、要スルニ斯ル事由ニ依テ此豫算竝ニ法律案ガ謂ハユル咄嗟ニ提出セラルルヤウニナツタノデハナカラウカト思フ、此事ハ私ハ必シモ大藏大臣ナリ總理大臣ナリガサウ否認セヌデモ宜カラウ、寧ロ之ヲ提出スル際ニ斯ル事情ガアツタカラ提出シタノデアアル、而シテ此事ハ今日ノ經濟狀態ニ於テ適當ナコトト思ウテ提出シタノデアルト云フコトヲ明言ナサレタ所デ何等惡イコトハナイ、寧ロ是ガ謂ハユル御互ニ胸襟ヲ披イテ審議スルト云フコトデアラウト思フ、然ルニ目賀田男爵ノ御問ニ對シテハ殆ド斯ルコトヲ知ラザ

ルガ如ク、斯ルコトハ敢テ何等頭ニ浮バザルガ如キ御答辯ヲナサタノハ私ハ甚ダ不本意ニ思フ、要スルニ斯ル事實ノアツタト云フコトハ恐ラク大藏大臣モ御了承ノアツタコトト考ヘル、ソレ故ニ敢テ再ビ問フノデアリマス、斯ル問題ガ出ナケレバ則チ已ム、苟モ一たび斯ル質問ノ出タ以上ハ斯ウ云フ事實デアルト云フコトヲ御示シニナルコトガ出來ナイノデアリマセウカ、是等ノ疑點ニ付テ大藏大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 第一ノ御尋ハ追加豫算ヲ同ジ形式ノモノヲ二ツ出シタ、最初三千八百六十萬圓ノ公債償還案ヲ出ス際ニハ此以上公債償還ノ途ガナキガ如ク言ツテ居テ、又二千萬圓公債ノ償還案ヲ出シタノハドウ云フ譯カト云フヤウナ御尋ト承リマシタガ、ソレハ先刻來申上ゲマスル通りニ、最初佛國庫債券ノ償還案ヲ出シマスル時分ニハ凡ソ此位デ此時局ニ對スル處置ハ足ルデアラウト思ッタノデアリマス、又ソレヲ思ハザルヲ得ナイ經濟界ノ事情モアツタノデアリマス、トコロガ最後ニ經濟界ノ事情モ多少變化ヲ致シマシテ、又此以上二千萬圓ヤソコロノ餘裕ガアルト云フ見込ガ立ッタノデアリマス、此餘裕ガアレバ其餘裕ヲ利用シテ成ルベク出來得ル限リ對外債務ヲ辨濟シタイト云フ政府ハ當初カラ有ツテ居ル所ノ方針デアリマスカラ、此方針ヲ遂行スル爲ニ又二千萬圓ノ外債償還ヲ増加スルト云フ案ヲ提出シタ所以デアリマス、次ニ内閣ノ一二ノ人ト貴族院ノ或ル議員ト交渉シタ事實ニ付テノ御尋デアリマスルガ、是ハ私ガ知ツテ居ルトスレバ水野君モ御承知ニナツテ居ルト同ジ程度ニ承知イタシテ居リマス、併シソレハ内輪ノコトデゴザイマス、詰リ政府ハ此案ヲ時局ノ爲ニ必要ナリト信ジテ提出イタシマシタダデアリマス、其以外ニハ最初目賀田男爵ニ御答イタシマシタ通りニ、内部ノ事實ノ有無ニ付テハ私ハ答辯ノ責任ヲ有シナイト心得テ居リマス

○男爵目賀田種太郎君 本員ハ先刻大藏大臣ニ伺ヒマシテ御説明ヲ得マシタ節ニソレハ過日此豫算ニ於ケル所ノ四分半利付公債ノ期限ガ切迫シテ居ルト云フコトヲ説明セラレタ、然ルニ昨年ノ十二月二十二日ニ於テハ何ト言ハレテ居ルカト云フト、鐵道ノ貸附ヲ止メテ之ヲ國債整理金ニ持ッテ來レバ何ノ公債ヲ償還スルカト云ヘバ、四分半利ノ英貨公債ヲ償還スルヨリ外ハアリマセヌ、是ガ一番……是ハ期限ノ切迫シタモノデアリマセヌト言ハレテ居ル、然ルニ過日ハ期限ガ切迫シタト云フ仰セデアリマスカラ、實際ニ於テ四分半利

英貨公債償還期限ハ大正十四年デアルノデアル、ソレデモ期限ガ切迫シタト
言ハレルノデアルカ、此前後相違ノ廉、今ノ大正十四年ノ期限ノ御説明ガナ
カッタウデアリマス、如何デアリマスカ、ソレヲ伺ヒマス

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 四分半利附ノ英貨公債ハ期限ガ切迫シテ居ナイト
私ガ申シタカ否ヤハ記憶イタシマセヌガ、假ニ左様ニ申シタト致シマスレバ、
ソレハ一方ノ佛貨國庫債券ト比較シテ切迫シテ居ナイト申シタニ相違アリマ
セヌ、佛貨國庫債券ハ大正十二年ノ償還期限デアルコトハ御承知ノ通りデア
リマシテ、英貨公債ハ大正十四年ノ償還期限デアルト云フコトハ御承知ノ通
リデアリマス、大正十二年ニ償還スベキ佛貨國庫債券ニ比較スレバ四分半利
ノ英貨公債ハ切迫シテ居ナイト言ハネバナリマセヌ、其事ヲ申シタノデアラ
ウト思ヒマス、其當時ニ佛貨國庫債券ヲ償還スルト云フ案ヲ提出シテ居リマ
シタカラ、詰リ佛貨國庫債券ト比較シテ説明ヲシタニ違ヒナイト思ヒマス、
然ルニ此佛貨國庫債券ハ一億法ノ買入償還ヲ企テテ居リマスルカラ、此以上
ニ買入償還ヲナスコト云フコトハ殆ド不可能ノコトト政府ハ考ヘルノデアリマ
ス、ソレ故ニ今度ハ四分半利附英貨公債ヲ償還スルト云フ政府ハ案ヲ立テタ
次第デアリマス

〔議長公爵德川家達君議長席ニ復ス〕

○水野鍊太郎君 此第一ノ議事日程ニ上ッテ居リマスル追加案ハ先程御尋イ
タシマシタ通り、同ジ形ノ案ガ二ツ出テ居リマス、内容ハ違ヒマス、金額ハ
違ヒマス、併ナガラ同ジク公債……而シテ國債基金償還ニ關スル案デアリマ
ス、此兩様ノ公債募集ハ同時ニ公債ヲ募集サル御考デアリマセウカ、將又
三千八百萬圓ハ先キニ募債シテ、而シテ是ハ佛貨公債ヲ償還スルカラ此二千
萬圓ハ其時期ガ餘ホド遅レルデアリマセウカ、其邊ハ十分ナル御考案ガアル
ノデアリマセウカ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 既ニ御協賛ヲ得テ居リマスル四千萬圓ノ分ハ……
即チ三千八百六十萬圓ト云フノハ公債ノ額面ハ四千萬圓デアリマス、四千萬
圓ノ分ハ此年度換リノ期節ニ募集ヲシタイト云フ豫定ヲシテ居リマス、併シ
尙ホ經濟界ノ事情ヲ取調ベマシテ多少ノ遲速ハアルコトト存ジマス、此度ノ
二千萬圓ノ分ハ是ハ大正五年度内ニ處置ヲ致セバ宜イノデアリマスルカラ、

是ハ經濟事情ノ如何ヲ篤ト取調ベマシテ、相當ノ時期ニ募集ヲ致ス積リデア
リマス、未ダ何時頃ト云フ豫定ハゴザリマセヌ

○子爵岡部長職君 本案ノ審査期限ハ別ニ時日ヲ定メルコトナク、審査結了
次第御報告ヲ致スコトニ致シタイト思ヒマス

○谷森眞男君 唯今ノ岡部子爵ノ御意見ニ賛成ヲ致シマス

○議長(公爵德川家達君) 岡部子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二、大正五年度歳入歳出總豫算追加案、
第二號、第三、大正四年度歳入歳出總豫算追加案、第二號、第四、大正四年
度各特別會計歳入歳出豫算追加案、特第二號、會議、委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ玆ニ載録ス以下之ニ倣
フ〕

一大正五年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

右衆議院ヨリ送付シタル案ヲ審査シ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリ
ト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十二日

豫算委員長

子爵岡部長職

貴族院議長公爵德川家達殿

一大正四年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

一大正四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモ
ノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十二日

豫算委員長

子爵岡部長職

貴族院議長公爵德川家達殿
〔子爵岡部長職君演壇ニ登ル〕

○子爵岡部長職君 大正五年度歳入歳出總豫算追加案第二號、先づ此案ノ審查ノ經過竝ニ結果ニ付キマシテ御報告ヲ致シマス、委員會ハ去ル十六日、十七日ノ兩日ニ於キマシテ開會ヲ致シマス、其間委員中ヨリ多ク質問モゴザイマシテ、當局大臣、政府委員等ヨリ綿密ナル説明モゴザリマシタ、而シテ十七日ノ會議ノ終ニ於キマシテ一先づ質問ハ終局イタルモノト認メマシテ、本案ヲ分科ニ付託スベキヤ否ヤト云フコトニ付キマシテ各委員ニ諮リマシタル所、別ニ分科ニ付スルコトニ及バズ、引續キ討議イタルイット云フコトニ相成リマシタノデゴザイマス、併ナガラ此問題ニ付キマシテハ各委員ニ於テモ各自慎重ニ研究ヲ致シタイニ付キマシテハ、暫ク二三日ノ猶豫ヲ與ヘテ然ル後ニ總會ヲ開會スルコトニ致シタイト云フ多數ノ希望デアリマシタニ付キマシテ、委員長ニ於キマシテハ其事ヲ約シマシテ十七日ハ散會ヲ致シ、昨二十二日第三回ノ委員會ヲ開キマシテゴザイマス、此委員會ニ於キマシテモ、尙ホ質問ノ殘リモアリマスルコトデアッテ、二三委員ヨリ政府ニ向ッテ質問ガアリ、又政府カラ答辯モアリマシタ、其質問ガ終リマシタカラ直チニ討議ニ移ルコトニナリマシテ、一ノ委員ヨリ希望條件ヲ附シテ本案ヲ可決スベシト云フ説ガ出マシテ、其通りニ可決ニ相成リマシタ、是ガ一通リノ順序デゴザリマス、是ヨリ審査ニ付キマシテノ極ク概況ヲ申上ゲマセウト存ジマス、去ル十五日日本案ガ本議ニ上リマシテゴザイマス、其際ニ於テ諸君ノ中ヨリ隨分詳シイ御質問モゴザリマシテ、農商務大臣、大藏大臣及政府委員ヨリモ比較的詳密ナル内容ニ互ッタル所ノ答辯ノゴザイマシタルコトハ諸君ノ能ク御記憶ニ相成リ居ルコトト信ジマス、而シテ委員會ト相成リマシテカラ段々質問説明等ヲ綜合イタシマシテ考ヘテ見マスルト、唯今申述べマシタル此本議ニ於テ、去ル十五日ニ議員諸君ト政府トノ間ニ質問應答ニ相成リマシタル事項ヲ敷衍イタルタルコトニ相過ギマセヌコトデゴザイマス、固ヨリ委員會ニ於キマシテハ技術上ニ付キマシテハ餘程詳シイ質問ガアリ、ソレニ對スル政府ノ答モゴザリマシタ、唯今申述べマシタル如キコトデゴザリマスルノデ、委員會ニ於ケル所ノ各委員ト政府トノ間ノ質問ニ立入りマシテハ一々申述べマスルコトハ省キマセウト存ジマス、昨日質問ヲ終リマシテ討議ニ移リマスルト、一委員ヨリ希望ヲ申出ラレマシテゴザリマス、其希望ニ付キマシテ稍々詳細ニ希望提出ノ理由ヲ申述べマセウト存ジマス、其委員ノ説ニハ、鐵ノ需要供給ニ關シマシテハ、日露戰役後朝野識者間ノ問題トナリマシテ、何レモ官民協力シテ之ヲ解

決セムコトヲ希望シテ居リマシタ、所ガ時局ノ發生ト共ニ一層焦眉ノ急ヲ感ズルニ至リマシテ、政府ニ對シテ是ガ解決ヲ迫リタル者アル程ナレバ、政府ニ於テハ夙ニ是ガ調査ヲ進行シ、一定方針ノ下ニ民業獎勵官業擴張ノ策ヲ講ジ、何カ相當ノ施設アルコトト期待シテ居リタル所、遂ニ其發現ヲ見ズシテ今日ニ至リタルハ頗ル遺憾トスル所デアアル、然ルニ時局ノ推移ト共ニ、造兵造船其他諸工事ハ俄然トシテ勃興シ、鐵ノ需要ハ層一層激増スルニ拘ラズ、輸入ハ殆ド杜絶ノ姿トナリ、今や鐵ヲ求ムルノ聲ハ天下ニ囂々タルニ至レリ、而シテ是ガ對策如何ト云フニ、之ニ對スル農相ノ答辯ニ依リマス、何等對策ヲ有セザルモノノ如シ、鐵ニ關スル調査ノ如キモ、近時俄ニ著シタル位ニシテ、未ダ一定ノ方針ヲ立ツルニ至リタルヲ認メナイノデアアル、民業助成ニ關シ具體的ノ成案モ有セズ、唯僅ニ製鐵所擴張ヲ以テ時局ノ急ニ應ゼムトスルモノノ如ク止マッタノデアアル、然ルニ此擴張案スラ其設計ヲ見レバ、今後六箇年ヲ費サザレバ其完成ヲ期スルコトガ出來ナイト云フヤウナ有様デアアル、又其財源ハ製鐵所ノ收益ヲ以テ支辨セシムルガ如キ頗ル緩慢ナルモノニシテ、到底時局ヲ救フニ足ラザルハ多言ヲ要セザル次第デアアル、付テハ一般方針ノ決定ニ關シテハ、別ニ相當ノ順序ニ依ッテ政府ニ要求スル所ガアルト考ヘル、故ニ其事ニ付テハ唯今言及スルコトヲ差控ヘル、唯此製鐵所擴張案ニ對シテハ、院議ヲ以テ左ノ如キ希望條件ヲ附シテ、政府ヲシテ極力時局ノ急ニ當ラシムコトヲ期スル次第デアアル、其希望條件ト申スルハ唯今朗讀イタシマス

製鐵所ノ第三期擴張ハ財政ノ許ス限り其年限ヲ短縮スルコト

モウ一度讀ミマス

〔再ビ朗讀ス〕

是ガ一委員ノ希望デアリマス、此希望ニハ直チニ贊成モゴザイマシテ、其贊成ト共ニ本案ハ全部可決スベシト云フ發議デアリマス、續々贊成モアリマシタニ付キマシテ、之ヲ採決ニ問ヒマシタル所ガ、全會一致ヲ以テ此希望條件ヲ認メマシタ、本案ハ可決イタシマシタル次第デアリマス、之ヲ約言イタシテ見マス、委員ノ全部ハ政府ノ提出セル第三期擴張ノ計畫緩慢ナルコトヲ遺憾トシテ、其一層奮勵努力セラレムコトヲ要求スル精神デアリマス、委員會ニ於ケル委員諸君ガ、製鐵事業ノ國家ノ存立ト發展トニ最モ重大ナル關係ヲ有スルコトヲ覺知セラレ、質問應答ノ際ニ於テモ其精神ハ言々語々ノ間ニ活躍セルヲ見マシタノハ、本員ガ甚ダ喜ビマスル所デアリマス、又委員長トシテ之ヲ唯今

諸君ニ報告スル機會ヲ得マシタルコトハ最モ光榮ト存ジマス所デアリマス、諸君ニ於カレマシテハ前述ノ報告ヲ容レラレマシテ、委員會ガ全會一致ヲ以テナシタル誠意アル決議ニ御賛同下サレ、製鐵所第三期擴張ノ年限ヲ短縮スベシト云フ貴族院ノ希望ヲ政府ニ致シ、且本案ヲ可決セラレムコトヲ切ニ希望スル次第デアリマス、次ニ大正四年度歳入歳出總豫算追加第二號、大正四年度各特別會計歳入歳出豫算追加第二號、是ハ昨日引續キマシテ質問モアリ政府ノ答辯モアリマシタ、何等異議ナク兩案ヲ可決イタシマシタ

○男爵目賀田種太郎君 本員ハ意見ヲ述ベタウゴザイマス、ソレニ先ダチマシテ一二農商務大臣若クハ政府委員ニチヨット説明ヲ承リタウゴザイマス

○議長(公卿徳川家達君) 目賀田男爵ニ確メマスガ、御意見ヲ御述ベニナル前ニ政府ニ質問ヲナサリタイト云フノデアリマス

○男爵目賀田種太郎君 チヨット一二簡單ニ確メタイノデアリマス

○議長(公卿徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○男爵目賀田種太郎君 伺ヒマスガ、農商務省ノ政府委員ニ承リマシタガ宜シウゴザイマス、此豫算ニ付テノ方針トシテ製鐵ノ目的ハ、即チ製鐵ノ方策ト云フコトニ付キマシテハ、政府ノ見ル所ハ八幡製鐵所ヲ本位トセラレテ此豫算ヲ提出セラレタノカ、將又日本全國ノ製鐵供給ト云フコトノ大問題ヲ解決スルガ爲ニ、農商務省ノ一ノ大方針トシテ此豫算ヲ提出セラレタノカ、二者其何レニアルカト云フコトヲ伺ヒタイ、又既ニ委員長報告ノ如ク希望ガアリテ、又隨テ製鐵事業ニ付テハ既ニ日程ニ調査機關ヲ置クト云フコトノ建議ガアリマス、是ニハ賛成セラルルノカ、反對セラルルノカ、此點ヲ確メテ意見ヲ述ベタウゴザイマス

〔國務大臣河野廣中君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(河野廣中君) 唯今目賀田男爵ノ御問ニ御答ヲ致シマス、今回ノ第三期擴張ヲ提案イタシマシタノハ、日本全般ニ關スル鐵ノ方針ト致シタノデハゴザイマセヌ、是マデノ製鐵所ノ第三期ノ擴張トシテ提出イタシタノデアリマス、一般日本全部ノ鐵ノ方針トシテハゴザイマセヌノデアリマス、此點ヲ申上ゲマス、ソレカラアトノ何ハ建議トカ申シマシタガ、謂ハユル希望條件デゴザイマセウカ、チヨット其程ガ分リマセヌ

○男爵目賀田種太郎君 調査機關ヲ置クト云フコトニ付テハ……

○國務大臣(河野廣中君) 希望デゴザイマス

○男爵目賀田種太郎君 調査機關ノ建議ガ出テ居ル、是ハ關聯イタシテ居リマス

○國務大臣(河野廣中君) マダ是ハ熟讀シテ居リマセヌ、唯今日程デ承知ヲ致シマシタノデ、唯今茲デ御答ヲスル譯ニ參リマセヌ、マダ本案ヲ熟讀ヲ致シテ居リマセヌノデゴザイマス、建議案ヲ……

○男爵目賀田種太郎君 強ヒテハ伺ヒマセヌガ、既ニ日程ニ載ッテ居ル以上ハ、之ニ關聯シタコトダカラ伺ヒタイト云フノデアリマス、御説明ノ如クンバ宜シウゴザイマス

○議長(公卿徳川家達君) 目賀田男爵ハチヨット御待チテ願ヒマス、岡部子爵ニ確メテ置キタイト存ジマスガ……御起立ニハ及ビマセヌ……唯今豫算委員長トシテ御報告ノ際御申述ニナリマシタ希望條件ハ、單ニ表決ノ際其希望ヲ表示セラレタル意味ニシテ、決議ニ條件ヲ附セラレタルモノデハナイト云フコトニ議長ハ認メマシテ宜シイノデゴザイマス

○子爵岡部長職君 無論左様デゴザイマス

○議長(公卿徳川家達君) 目賀田男爵ノ登壇ヲ促シマス

〔男爵目賀田種太郎君演壇ニ登ル〕

○男爵目賀田種太郎君 本員ハ此豫算ノ事柄ニハ賛成シテ居リマス、併ナガラ豫算ノ目的及提出ノ方法ニ付テハ最モ意見ヲ異ニシテ居リマス、故ニ大體ニ於テハ反對ノ意ヲ持ッテ居リマスルカラ、此ノ所ニ於テ一應意見ヲ陳述イタシタク存ジマス、唯今農商務大臣ハ此豫算ハ唯八幡ノ製鐵所ノ爲ニスルノミト説明セラレテ居ル、是ハ誠ニ本員ヲシテ失望セシムル最大ノ理由デゴザイマス、苟且ニモ農商務省トシテハ、第一ニ八幡ノ製鐵所ト云フコトヲ帝國ノ鐵政策ノ上ニ於テ著眼セラルベキモノデハナイト思ヒマス、農商務省ノ著眼セラルベキハ、日本製鐵ノ供給ノ大問題ヲ如何ニスルカト云フコトデアラウト思ヒマス、是ハ實ニ殆ド立國ノ大本分デアッテ、殊ニ陸海軍ノ軍器ノ完全ナル供給ヲ得セシムルト云フコトノ基礎デアルト思フノデアリマス、本員ハ固ヨリ軍事ノコトニハ通ジマセヌケレドモ、如何ニモ陸海軍ノ軍器及軍政ノ不研究ナルコトヲ慨キマシテ、曩ニ自ラ請ウテ此事ノ調査ニ從事シ、常ニ豫算ノ審查ヲ擔當イタシテ居ルノデゴザイマス、製鐵事業ガ實ニ陸海軍即チ國防ノ基礎タルコトヲ思ッテ、既ニ此事ハ度々申シマスルガ顧ミラレヌ、此度或ハ目的ヲ遂ゲタカト存ジマスル所ガ、唯今ノ説明ノ如クンバ全ク本員ノ意トハ反ス

ルノデアリマス、農商務省ニ於テハ八幡ノ製鐵所ヲ整理擴張スルト云フコトノ必要ヲ認メラレマスルガ、本員ノ見ル所ニ依リマスルト云フト、是ハ唯製鐵所ヲ大キクスルト云フ意味デハナイト思ヒマス、擴張ニハ自ラ擴張ノ一定ノ目的ガナケレバナラスト存ジマス、元來八幡製鐵所ノ位置ト致シマシテハ、帝國ノ鐵政策ヲ完全ニスルガ爲ニ、凡ソ四ツノ目的ヲ持ッテ居ルト思フノデアリマス、是ハ即チ何デアアルカト云フト、第一ニ海陸軍造船材料ノ特殊ノ材料ノ供給ヲ圖ル、第二ニハ極ク薄板ノ鐵、即チ葉鐵ノ原料ノ供給ヲ圖ル、御承知ノ如ク帝國ノ軍器ニ於テ獨立ヲ關クモノハ此葉鐵デアアル、薄イ鐵デアアル、是ハ出來ナイコトハナイノデス、出來ルノデス、唯技術ノ未ダ足ラザル、又同時ニ民間ノ事業トシテハ餘ホド是ハ困難デアアル、故ニ第二ノ事業トシテ斯ノ如キコトヲ行ハルルト云フコトハ、實ニ軍器ノ完全ヲ致ス基礎ト存ジマスル、第三ニ民間ニテ將來設立セラルベキ所ノ大小ノ工場ニ對シテ原料トシテ鋼材ヲ供給スル、或ハ鋼材ノ原料トモ云フベキ「スチール、ブルーム」或ハ「スチール、ビレット」ト云フモノヲ供給スルコトガ必要デアリマス、殊ニ大體ニ於テ豫算ノ立案ト云フモノハ土臺本員ナドトハ反對シテ、基本點ガ違ッテ居ル、唯八幡製鐵所ノ役所ノ擴張ト云フコトデアアル、是ハ本員ハ甚ダ不同意デアリマス、殊ニ委員長ノ報告ノ如ク基金ヲ得ル困難ヨリ營業利益ナドヲ以テ經費ヲ見込ムト云フガ如キハ是甚ダ頼ムベカラザルモノデアアル、故ニ簡單ニ申上ゲマスルト云フト、斯ノ如キ現狀ノ下ニ於テハ此豫算ヲ決定セラレタナラバ先ヅ以テ大正六年度ニ於テハ製鐵、製鋼ト云フダケノ準備ヲセラレテ、即チ此製鐵ト、製鐵ヨリシテカラニ製鋼ヲ得ルト云フ所ノ準備ダケヲセラレ、即チ曩ニ委員會ニ於テ示サレタル所ノ平爐ノ八基ト云フノガゴザイマス、百五十萬ヲ要スル、百五十萬圓ノ經費ヲ要スル平爐ノ八基、「スチール、メーキング、ホルネー」是等ノモノニ著手セラレ、大體將來ノ方針ニ付テハ今茲ニ議場ニ建議トシテ提出セラレテ居ル調査機關ノ調査ノ決定ヲ待ッテ、大體帝國ノ製鐵事業ノ方針ヲ確定セラレムコトヲ望ミマス、本員ノ見ル所ヲ以テスルト是ハ大體本末ガ違ッテ居ルト思フ、先ヅ先キニ調査機關ヲ置カレテ其決定ヲ得テ、初メテ豫算ヲ提出セラルルノガ順序ト思ヒマス、然ルニ事ヲ究メズ、間違ヒタル豫算ヲ出シテ、後ニ調査機關ヲ置クト云フコトデアリマスルカラ、成ルベクハ此豫算ノ執行上將來ノ事業ニ妨ナキガ爲ニ、大正六年ニ於ケル事業ハ唯ミ準備ニ止メラレテ、宜シク同時ニ成立スベキ調査委員ノ決定ヲ待ッテ將來ノ大方針

ヲ定メラルルコトヲ望ミマス、實ハ豫算委員會ニ於テ本員ハ農商務大臣ニ向ヒ、今朝質問ニ及ビタルト稍、同一ナル事件ヲ以テシテ、當時今朝トハ違ヒタル説明ヲ得マシテ、稍、満足ヲシテ居ッタデアリマス、豫算委員會ニ於テハ本員ガ質問ヲ致シマシタノハ、政府ハ大體製鐵ノ方針ヲ有ッテ居ルカ、此豫算ハ大體帝國ノ製鐵事業ノ爲ニ基礎トナルベキモノカト云フコトヲ御尋イタシタトキニ、其如クデアアルト云フコトデアリマシタカラ安ンジテ居ッタデアアル、然ルニ今承レバ是ハ唯八幡製鐵所ノ擴張ノタメ、大體帝國ノ製鐵事業ノ爲ニ非ズト云フコトデアリマス、前後違ッテ居ルト本員ハ思ッテ居ル、果シテ然ラバ前回豫算委員會ニ於テ承リタル所ト大ニ違ッテ居ル、茲ニ於テカ益、本員ハ此豫算ニ反對ノ意ヲ有ッテ居ル、既ニ此豫算ガ議ニ繫タル以上ハ豫算ノ執行上ニ於テ事業ヲ按排セラレテ、先ヅ最初ニハ準備事業ノミニ著手セラレテ、然ル後銑鐵、鋼、及分地工場、或ハ其後ニ於テ大型鐵棒、大型ノ棒、或ハ大厚板、極ク薄板、是等ノ製造事業ニ初メヨリ順序ヲ定メテ著手セラレ、之ヲ誤ラザラムコトヲ望ミマス、大體ニ於テ本員ハ鐵政策ヲ定メラルルコトハ大ニ希望シタノデアリマスガ、斯ノ如ク唯一時ノ世間ノ唱フル所ニ浮カサレテ、寔ニ基礎ノ定マラザル法案ヲ以テ此豫算ヲ提出セラレタノハ甚ダ遺憾ニ思ヒマス、併シ豫算既ニ提出セラレ、此議ニ上ッタル以上ハ本員一人反對ヲ唱ヘマシタ所ガ效能ハアリマセス、唯本員ノ希望ハ豫算ノ執行ノ上ニ行ハルルノデアリマスカラ、此所ニ之ヲ述ブルノデアリマス、併セテ申シマスルガ議場ニ於テ既ニ提案トナッテ居ル調査機關ノコトニ付テ、未ダ熟讀セザルカラ是ハ意見ヲ發表セズト云フコトデゴザイマス、其議案ノ日程ニ於テ本員ハ更ニ農商務大臣ニ御尋シマスカラ、御用意アルベシ、篤ト御尋イタシマス、且ツ其時ニ於テ更ニ希望ヲ述べマスルカラ、其時ハ御領得アラムコトヲ求メマス、唯今御熟讀ナキ以上ハ申スモ詮ガゴザイマセス、控ヘマス、唯此豫算ハ甚ダ本末ヲ違ヘタル豫算ナリト思ヒマス

○議長(公傳德川家達君) 諸君ニ御諮リヲ致シマス、豫算委員長ノ報告セラ

マセヌカ

○議長(公傳德川家達君) 御異議ナイト認メマス、河野農商務大臣

「國務大臣河野廣中君演壇ニ登ル」

○國務大臣(河野廣中君) 唯今日賀田男爵ノ御説ノ先刻私ガ御答ヲ致シタノ

ガ大層行違ヲ生ジテ居ルヤウデゴザイマスカラ、玆ニ一言申述ベテ置キマセ
ヌケレバナラヌ、此豫算ハ鐵ノ全體ノ方針ニ係ルカト云フ御尋、又八幡ノ擴
張ノ案カト、斯ウ云フ御尋ト心得マス、之ニ對シテ日本將來ニ係ル鐵ノ方針
トシテ此案デハナイ、八幡ノ製鐵所ノ第三期ノ擴張ヲスル案デゴザイマス
カラト云フコトノ案ノ趣意ヲ申上ゲマシタノデアリマス、ソレヲ非常ニ御答
メデアリマシタ、ノミナラズ此鐵ノ全體ノ有様ニ關係ナキモノノ如キ御言葉
ガゴザイマシタアリマスルガ、是ハ左様デハゴザイマセヌノデアリマス、是
ハ本院ニ案ヲ提出イタシマシタトキモ申シテ置キマシタ、鐵ノ需要ハ我國甚
ダ多クナッテ來テ居ル、激増シテ居ル、而シテ益々増加スルノ場合ニ當ッテ、此歐
羅巴ノ戰亂ノ爲ニ鐵ノ供給ガ少クナッテ、ノミナラズ追々鐵ノ需要ハ更ニ増加
シテ居ッテ甚ダ困難ヲスル、當業者ガ困難ヲ來タシテ居ル、ソコデ此鐵ノ第三
期ノ擴張ハ最モ急ヲ要サヌケレバナラヌ、而シテ是ガ出來上ッテ見タ所ガ、需
要ノ三四分ノ一ニシカ止マラヌノデアルト云フコトヲ先ヅ申上ゲテ置イテ、
而シテ第三期ノ擴張ノ必要ナルコトヲ申述ベテ置キマシタノデアリマス、委
員會ニ於キマシテモ尙ホ御尋ニ從ッテ其意味ヲ申述ベテ置キマシタ、唯今其包
容スル所ノ意味ヲ御尋ニナリマシタカラ、此本案ハ即チ製鐵所ノ擴張ニ對シ
マスル、其以外ノコトニ大層手ヲ伸シタ等ノコトノナイ意味ヲ申上ゲタノデ
アリマス、本案ハ八幡ノ第三期ノ擴張即チ其モノノ案デアリマス云フコト
ヲ申上ゲタ、ソレハ何ゾ御聽取リ違ヒカ、私ノ申上ゲ方ガ惡イノカ、頗ル此點
ニ付テ御解釋ガ私ノ意味ト大層相違ヲ生ジテ參リマシタノデ、私ノ申上ゲ方
ノ甚ダ足ラザル故デアラウカト考ヘマシタノデ、玆ニ此事ヲ一言申上ゲマス
○男爵目賀田種太郎君 私ハ何等農商務大臣ト本員トノ間ニ行違ヒハゴザイ
マセヌ、本員ハ此八幡製鐵所ノ事業ヲ大體政府ノ施設トシテノ場所ト定ムル
コトニ依リ、八幡製鐵所ノ事業ノ範圍ヲ定ムルコトニ依リ、大體帝國ノ鐵行政
及鐵經濟ヲ確定スルコトヲ考ヘマシテ、之ヲ此中ニ包含セラルルヤ否ヤト云
フコトヲ問ウタノデアリマス、苟且ニモ官立ノ製鐵所ノ目的ヲ確定スルニ於
テ其範圍ヲ定ムレバ、即チ從ッテ全國ノ鐵經濟ハ起ルノデアリマス、一體陸海
軍其他國防ノ……

○議長(公爵德川家達君) 目賀田男爵ニ御注意ヲ致シマスガ、二回ノ發言ハ
意見トシテハイケナイコトハ無論御承知ト考ヘマス、唯今ノ農商務大臣ノ答

辯ニ對スル御辯明ナラ宜シウゴザイマス

○男爵目賀田種太郎君 無論辯明デゴザイマス、詰リソレヲ申シタノデア
テ、何等行違ヒハナイト思フノデアリマス、唯農商務大臣ハ本員ノ質問シタ
所ト相違アルニ依リ、何等行違ヒゴザイマセヌ、本員ハ政府ノ提出シタル此
豫算ニハ前申シマシタ如ク反對ノ意ヲ有ッテ居ルノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 採決イタシマス、豫算委員長ノ報告セラレマシタ
三案トモ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第五、外國債ノ整理償還ノ爲内國債ヲ發
行スルコトニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

外國債ノ整理償還ノ爲内國債ヲ發行スルコトニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正五年二月二十二日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

外國債ノ整理償還ノ爲内國債ヲ發行スルコトニ關スル法律案

政府ハ外國債ヲ整理償還スル爲必要アルトキハ國債整理基金特別會計法第
五條ノ規定ニ依ラス内國債ヲ發行スルコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 本案ハ前ノ日程ニゴザイマシタ豫算追加ノ案ヲ執
行イタシマスニ付テ必要已ムヲ得ナイ法律デゴザイマス、御審議ノ上協賛ヲ
與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○男爵高橋是清君 私ハ大藏大臣ニ質問イタシマス、第一ニハ凡ソ此十年此
方我國ノ經濟ガ外國ト親密ニナリ、國際經濟界ノ仲間入ヲシタヤウナ形ニナ
リマシタ、ソレ以來歐羅巴ニ向ッテ我が内國債ノ流出シタルコトハ大藏大臣ハ
御承知ニナッテ居ルト考ヘマスガ、而カモ其高ハ凡ソ一箇年ニ一千萬圓以上ヲ

超エル位ナ我ガ内國債ガ歐羅巴人ニ依ッテ買取ラレテ輸出セラレタト云フコトハ御承知デアルヤ否ヤ、大藏大臣ニ伺ヒタイ、第二ニハ左様ニ輸出セラレタ所ノ内國債ガ現在海外ニドノ位存在シテ居リマスルカ、私ノ記憶スル所デハ今日尙ホ三千萬以上我ガ内國債ガ海外ニ於テ放資者ノ爲ニ所有セラレテ居ルト云フコトヲ信ジマスガ、大藏大臣ハ矢張り其位ナ高ハ今日海外ニ存在シテ居ルト云フコトヲ御認メニナルヤ否ヤ、又此内國債ノ海外ニ存在シテ居ルモノニ向ッテノ利拂ハ、今日マデノ所矢張り爲替作用ニ依ッテ、我國ハ正貨ヲ以テ海外ニ於テ拂ッテ居ル形ニナッテ居ルト云フコトモ御承知ニナッテ居ルヤ否ヤ、是ガ第二デアリマス、第三ニハ近頃此海外ニ出マス所ノ内國債ガ逆輸入セラレ、矢張り一箇月百萬圓位ノモノガ内地ニ戻ッテ來ルト云フコトノ事實ガアルヤ否ヤト云フコトヲ御承知デアルヤ否ヤ、ソレヲ第三ニ伺ヒタイ、第四ニハ斯ノ如ク先キニハ我ガ内國債ガ海外ニ出ル傾向デアル、今日ニ於テハ是ガ却ッテ逆輸入セラレルト言フ狀況デアリマスガ、ソレハ何等ノ原因ニ依ッテ或時ニハ輸出セラレ、或時ニハ輸入セラレルトデアリマスカ、大藏大臣ノ其原因ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイ、先ヅ此四箇條ニ付テ大藏大臣ノ御意見ヲ伺フタ後ニ、更ニ尙ホ御尋シタイコトガゴザイマス

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 唯今第一カラ第三マデノ御尋ハ是ハ計數ヲ取調べテ御答ヘ申シタ方ガ宜カラウト思ヒマス、取調べマシタ上ニ御答ヘ申シマス、此事實ハアルコトヲ承知シテ居リマス、併ナガラ唯今仰セノ通りノ計數ガ果シテ實際如何デアアルカト云フコトハ尙ホ委シク取調べテ御答ヲ申上ゲマス、第四ノ一旦海外ニ出タ公債ガ復タ逆輸入ヲシテ來ルト云フノハ是ハ時局ノ爲替相場ノ變動等ガ最モ主タル原因ト存ジテ居リマス、第一カラ第三マデハ能ク計數ヲ取調べテ申上ゲルヤウニ致シマス

○男爵高橋是清君 私ハ此計數ニ付キマシテハ少シモ間違ナイ所ノ確實ナル數字ヲ御尋イタス趣意デハナイノデアリマス、大藏大臣トシテハ從來我ガ内國債ガ毎年ドノ位ヅツ出タ、海外ニ出タカト云フコトハ定メテ概數ニ於テ御承知ト認メルノデアリマス、併シ事實ハ御認メニナッタト云フ御答デアリマス、然ラバ矢張り此一箇月二箇月ニ互ッテ凡ソ百萬圓位ヅツ逆輸入シテ居リマスガ、是モ御認メニナッタカドウカ、第四ノ御答ハ唯今日這入ッテ來ルト云フ事情ダケノ御答デアリマシタガ、私ノ御尋イタスノハ何故ニ先キニ我ガ内國債

ガ凡ソ一箇月百萬圓位ノ高ヲ以テ輸出セラレ、今日ハソレガ何故ニ逆輸入セラレルト云フ兩様ノ御尋ヲシタノデアリマス、爲替相場、時局ノ爲ニ爲替相場ノ利益ガアルカラ輸入スルト云フ御答デアリマシタガ、ソレモ一ツノ原因ニ違ヒナイト私ハ考ヘル、詰リ出タ原因ハ我國ノ財政經濟ノ鞏固ナルコトヲ歐羅巴人ガ追々ト知ルヤウニナリマシテ、財政經濟ノ信用ガ發揮スルト同時ニ或國ニ於テ他ノ有價證券ヲ持ッテ居ルヨリ、日本ノ内國債ヲ買ッテ持ッタ方ガ安全ニシテ且ツ利廻リガ宜イト云フ爲ニ投資者ガ之ヲ買取ッテ行ッタモノト私ハ信ズルノデアリマスガ、之ニ付テハ大藏大臣モ御同意デアラセラレルト考ヘル、又内國債ノ海外ニ在ルモノガ逆輸入セラレル原因ハ即チ爲替相場ノ變動ニ依リ、内地ニ之ヲ賣却スルヲ以テ利益トスル故ニ賣ル者モアリマセウ、又彼等ガ今日ノ時局ニ當ッテ他國ノ有價證券ヲ成ルベク有利ニ賣ルモノハ賣ッテ以テ其金デ、自國ノ軍事公債ニ應ズルト云フヤウナ事情カラ賣ル者ガ出マセウ、併ナガラ又他ニ愈、我國ノ財政經濟ノ信用ガ失墜シテ、彼等ガ我國ノ財政ニ信用ヲ置カザル場合ニ至ッテハ、矢張り彼等ノ所有シテ居ル内國債ヲ我國ニ逆輸入シテ賣ルト云フコトアルコトヲ大藏大臣ハ御認メニナルヤ否ヤ、其點ヲモウ一遍確メテ尙ホ御尋イタシマス

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 我國ノ財政ノ信用ガ俄ニ失墜シテ、我國ノ公債ガ逆輸入サレルト云フヤウナコトハナイト信ジマス、寧ロ反對ニ我國ノ公債ハ益々信用ガ高クナリマシテ、他ノ國ノ公債ヨリ海外ニ於ケル相場ガ昂騰シテ居ルト云フ事實ヲ認メテ居リマス、今日俄ニ我國ノ信用ガ墜タトハ認メマセヌ

○男爵高橋是清君 唯今ノ御答ハ私ノ御問ヒ申シタ點ニ當ッテ居リマセヌ、私ハ今日ノ逆輸入ガ果シテ其原因デアルト云フコトヲ申シタノデハナイ、三千萬圓以上海外ニ出テ居ル内國債ガ我國ニ戻ル場合ハ如何ナル場合ニ於テ戻ルモノデアアルカト云フコトヲ御尋シタ、即チ今日ノ如キハ決シテ我國ノ財力ノ信用ノ失墜ノ爲ニ逆輸入セラレルコトデナイト云フコトハ私モ承知シテ居ル、併ナガラ此外ニ又逆輸入セラレルベキ原因ガアル、ソレハ我國ノ財力信用ガ失墜シタ場合ニ於テハ矢張り今日ト同ジヤウニ海外ニ出テ居ル所ノ内國債ガ矢張り逆輸入サル場合アルコトヲ御認メニナルヤ否ヤト云フコトヲ御尋シタ、目下ノ逆輸入ニ付テソレガ原因デアアルカト云フコトヲ御尋シタノデ

ナイ、如何デゴザイマス

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 唯今ノ御言葉ニ依リマスレバ先キニ私ガ御答ヘ申シマシタノハ全ク高橋男爵ノ御言葉ヲ誤解シテ御答ヘ申シタノデアリマス、若シ我國ノ財政ノ信用ガ失墜スルコトガ假ニアリトスレバ、ソレガ爲ニ公債ガ逆輸入スルヤウナコトガアルカト云フ御尋デアリマスレバ、ソレハ若シ萬一サウ云フ外國ニ對シテ非常ニ日本ノ財政ノ信用ヲ失フヤウナコトガアリマシタナラバ、サウ云フコトモアルカモ知レマセヌ

○男爵高橋是清君 唯今ノ御答ハアルカモ知レマセヌト云フコトデ、甚ダ疑ハシイコトデアリマスガ、本員ハ苟モ内國債ガ外國ニ出テ居ルモノガ逆輸入セラレル場合ハ彼等ガ金ノ入用ガアツテ賣ル爲ニ戻ッテ來ル、或ハ又我國ノ信用ガ失墜シタ爲ニ戻ッテ來ル、斯ウ云フノガ主ナル原因ト認メルノデアリマスカラ、是ハ大藏大臣モ否認セラルルコトハ出來ナイト考ヘル、果シテ然ラバ公債ナルモノハ矢張り一種ノ商品ノ如キモノデアリマセヌカ、彼等ノ都合ニ依ッテハ買ッテモ持ッテ行クシ、又彼等ノ都合ニ依ッテハ之ヲ賣リニ來ルト云フ品物デアツテ、恰モ極ク融通ノ利ク商品ノ性質ヲ帶ビテ居ルモノデアリマセヌカ、然ルニ政府ハ茲ニ高利ノ内國債、比較的高利ノ内國債ヲ起シテ以テ海外ニ在ル所ノ英貨公債ヲ銷却スルト云フ政策ヲ執ラルルノデアリマスガ、何故、政府ハ此英貨公債ト内國債トニ於テ左様ニ著シイ區別ヲ立テラレルノデアリマスガ、如何ニ内國債トセラレテモ從來ノ經驗ニ依ッテ我國ノ財力ノ信用ガ厚クアル以上ハ、矢張り是ハ商品同様ニ彼等ハ持ッテ行キマス、若シ我國ノ財政ガ不信用ニナリ、或ハ國民ノ生産ノ力ガ衰ヘルト云フ場合ニ於テ、財力ノ信用ヲ失墜スル場合ニ於テハ矢張り遠慮ナク彼等ハ持ッテ來テ之ヲ内地ニ賣ルノデアリマス、然ルニ茲ニ四分半利ノ英貨公債ヲ還ス爲ニ五分ノ内國公債ヲ募集スル、而カモ今日ノ場合ニ於テハ政府ノ手取ハ決シテ五分デ額面ト云フ譯ニハ行カナイ、此内國債ヲ一方ニ於テ殖ヤシテ外國債ヲ減ラスト云フ御趣意デアアルカラシテ、彼ノ減債基金ノ趣意トハ全ク違フ、公債ヲ減ラスニアラズシテ、唯外國デ發行シタ公債ヲ減ラス爲ニ、ヨリ以上ノ高イ利息ヲ拂ッテモ内國債ヲ起スト云フ、斯ウ云フコトデアリマス、茲ニ於テ御尋ヲシタイノハ、苟モ高利デ借リテ、比較的高利ノ公債ヲ新ニ募集シテ現存スル所ノ公債ヲ銷却スルト云フコトハ、償還期日ノ來ツタ所ノ、即チ其公債ヲ償還スル場合

ノ外ハ此事ヲ行ヘバ國家ノ不利益ニナルト云フコトヲ御認メニナラヌカ、減債基金法ノ第五條ニ之ヲ借換ヘル爲ニハ必ズ利益アル低利ノ公債ヲ募集スルト云フコトニ限ッテ居ルコトハ是ハ誠ニ然ルベキ當然ノ規定デアアル、償還期日ガ來ツテドウシテモ拂ハナケレバナラヌ場合ナラバ、利益不利益ヲ論ズルコトモ出來ナイカラ、新ニ高イ利息ノ公債ヲ發行シテモ其資金ヲ調達シナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ヌデ起ッテ來ルコトデアリマス、然ルニ前申ス通り恰モ一種ノ商品ノ如キ性質ヲ帶ビテ居ル所ノ我ガ内國公債ハ對外貿易品ト殆ド異ナラヌ性質ノモノデ、此利ノ高イモノヲ起シテ外國ノ安イモノヲ還スト云フコトハ却ッテ國家ノ爲ニ不利益ナル政策デアルト御認メニナラヌカ、其點ヲ一ツ御伺ヒ致シタイ、尙ホアトニモ質問ガゴザイマス

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 成ルホド今内國債ヲ募集シテ外國債ヲ償還イタシマスレバ、多少ノ不利益ハ免レナイト思ヒマス、併ナガラ此時局ノ影響ヲ利用シテ外國ニ對スル債務ヲ減ジテ置クト云フ必要ガアル以上ハ、是ハ致方ハナイト云フコトヲ毎々申上ゲタ次第デアリマス、今ヨリ十年ノ後ニ五億何千萬ト云フ公債ヲ償還若クハ借換ヲシナケレバナラヌト云フ時期ガ參ッテ居リマスカラ、ソレヲ出來ルダケ減少シテ置カナケレバ他日非常ナル不利益ヲ招クト云フ虞ガアルノデアリマスガ、此他日ノ不利益ヲ出來得ル限リ減少スル爲ニ今日目前ノ僅ノ不利益ハ忍ンデ斷行シナケレバナラヌト云フ趣意ニ外ナラヌノデアリマス、成ルホド四分半利ノ英貨公債ヲ五分利ノ内國債ヲ募ッテ償還シマスレバ多少ノ不利益ハ免レマセヌ、併ナガラサウ非常ニ莫大ナ不利益ヲ受ケル譯デアリマセヌ、其利廻リノ差ト云フモノハ僅ノモノデアラウト思フノデアリマス、其僅ノ不利益ハ忍ンデ他日ノ不利益ヲ避ケルヤウニ今ヨリ處置ヲ致シテ置キタイト云フノガ、此對外債務ノ減少ニ政府ノ努力スル所以デアリマス、其邊デ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○男爵高橋是清君 即チ内國債ヲ募集シテ外國債ヲ還スト云フ不利益ナコトハ御認メニナツタ、唯他日ノ不利益ヲ防グ爲ニ今日ノ不利益ハ已ムヲ得ヌト云フ御答デアツタ、ソレニ付テ尙ホ一言伺ヒタイ、是ハ減債基金法ノ精神デアツテ、其趣旨ニ從ッテ公債ヲ減ラスト云フコトナラバ其不利益ト云フコトハ起ッテ來ナイ、基金法ニ據ッテ新ニ内國債ヲ起シテ買入償還スルカラ不利益ト云フコトガ起ッテ來ル、此不利益ヲ避ケル爲ニ何故ニ政府ハ此基金法特別會計ニ

於テ公債ヲ募集スルコトヲ御避ケニナラナイノカ、ソレヲモウ一應伺ヒタイ

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 成ルホド一般會計カラ繰入レマシタ國債整理基金デ償還スル分ハ利益不利益ニ差ハナイノデアリマス、併ナガラ多分高橋男爵ノ仰セラレルノハ鐵道ニ貸附ケテ居ル其一般會計ノ金ヲ國債整理基金ニ繰入レテ償還スレバ損失ハナイデハナイカト云フ御説ノヤウデアリマスガ、是ハ毎々申上ゲマスル通り、鐵道ノ財源ノ調達方ヲ今日改ムルト云フコトハ政府ハ其當ヲ得ナイト存ジマスル、即チ經濟ノ狀態ガ今日ハ變調期ニアルノデ、此變調ヲ生ズルトキニ此財源調達方ヲ改メルト云フコトハ其當ヲ得ナイト思フ、ソレ故ニ大正五年度モ依然トシテ二千萬圓ノ鐵道特別會計ニ貸附ケルト云フコトニナツテ居リマス、其以上ハ別ニ一般會計カラ國債整理基金ニ繰入レテ繰合セガ付キマセヌ、三千萬圓以上繰入レルト云フコトハ出來マセヌカラ、已ムヲ得ズ内國債ヲ募集シテ外國債ヲ償還スルト云フ仕方ヲ執ルヨリ外ナイノデアリマス

○男爵高橋是清君 政府ハ此時局ノ爲ニ一時ノ變態ト云フコトヲ始終答辯ニサウ云フ御言葉ヲ御用ヒニナリマスガ、是ハ幾ラ申上ゲテモ御分リニナラヌト思ヒマスカラ、此事ニハ論及ヲシマセヌガ、免角政府ハ斯様ナ變態ガ……所謂此變態ニ處スル爲ニ變態ノ手段ヲ用ヒラレルノデアアル、正貨ガ激増シテ居ルト云フコトガ重モナヤウニ思ハレル、即チ比較的高利ノ内債ヲ起シテ低利ノ外債ヲ買入レラレルト云フ案モ、畢竟激増シテ來ル所ノ正貨ノ處分ノ一トシテ御組立ニナツタモノト承知スルガ左様デゴザイマスガ、ソレヲ伺ヒマス、其上デ御尋ネ致シマス

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 時局ノ影響ニ因ツテ正貨ガ激増シマシタ影響ガ金融界ニ及ンデ、金融ノ緩慢ヲ來タスト云フ虞ガゴザイマスルカラ、此激増シタル正貨ヲ利用シ、併セテ内地ノ金融ヲ調節シ、而シテ對外ノ債務ヲ減少スルト云フ趣意デゴザイマス、ソレカラ序ニ先刻第二ノ御尋ハ内國債ノ外國ニ出テ居ル高ヲ御尋ニナリマシタガ、ソレハ取調ベマスルニ内國債ノ外國人ノ所有ニ歸シテ居ルノガ約八千萬圓デゴザイマス、ソレカラ大正四年中ニ逆輸入イタシマシタ高ハ四百萬圓デアリマス、大正五年一月以後ニ逆輸入ヲシテ參ッタノガ百萬圓デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔男爵高橋是清君「マダ私ハ御尋ネ致シタイコトガゴザイマス」ト述フ〕
○議長(公爵徳川家達君) 朗讀後デモ宜カラウカト考ヘマス

〔河井書記官朗讀〕

外國債ノ整理償還ノ爲内國債ヲ發行スルコトニ關スル法律案特別委員

伯爵松平 直之君 子爵牧野 忠篤君 子爵酒井 忠亮君
男爵田 健治 郎君 男爵外松 孫太郎君 室田 義文君
木村 誓太郎君 武石 橋次君 高崎 三重郎君

〔男爵高橋是清君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 高橋男爵ニ御相談ヲ致シタイト思ヒマス、特別委員ノ氏名ノ朗讀後デモ差支ナイトハ申上ゲマシタガ、マダ質問セラレル時機ハ澤山アルノデスカラ、其時ニ御譲リニナツテハドウデスカ

○男爵高橋是清君 矢張り此問題モ僅デスカラ續ケテ質問イタシタイ

○議長(公爵徳川家達君) 第一讀會ノ續ノトキニ願ツテハドウデスカ

○男爵高橋是清君 此際續ケテ致シタイ、宜シウゴザイマスガ

○議長(公爵徳川家達君) 極メテ簡明ニ願ヒマス

○男爵高橋是清君 極ク簡單ニ致シタイト思ヒマスガ……政府ハ此激増スル所ノ正貨ヲ如何ニモ我ミノ考ヘル所デハ厄介サレルヤウニ思ハレル、前申ス通り償還期日ノ至ツタ公債ヲ還ス場合ノ外ニ高利ノ公債ヲ借りテ、新タニ高利ノ公債ヲ發行シテ買入償還ヲナスト云フコトハ、必ズ國家ノ不利ノコトハ申スマデモナイコトデアリマス、此正貨ノ激増スル爲ニ何故ニ之ヲ厄介視シテ此國家ノ爲ニ不利ナル所ノ方法ヲ取ラレルノデアアルカ、正貨ハ今日ハドウ云フ狀態デアリマセウカ、各國共ニ殊ニ此交戰國ニ於キマシテハ軍需品買入等ノ爲ニ其國ノ爲替相場ノ下ツテ居ルト云フコトハ最も不利益ナル狀態デアアル、ソレヲモ忍ンデ成ルベク互ニ交戰國ハ自國ノ中央銀行ニ正貨ヲ集中シテ、成ルベク外へ放タナイヤウニ努メテ居ル、是ハ戰後ノ財政經濟ノ整理ニ付テ固ヨリ其力ヲ復活シテ、其國民ノ勤勉貯蓄ノ信念ニ俟ツコトハ多イノデアリマスケレドモ、尙ホ其國ノ正貨ノ在高等ガ大ニ此戰後ノ財政經濟ノ整理上ニハ力ヲ持ツモノデアアル、故ニ成ルベク正貨ヲ出サヌヤウニシテ、多少ノ高利ノ金デモ買ッタ品物ヲ正貨デ拂ハズシテ、其國デ借金ヲシテ、ソレデ一時

濟マスト云フヤウナ手段ヲ取ツテ居ル、現ニ我國ニ於テ露國ノ證券ヲ取ツタノハ矢張り其趣意デアル、然ルニ何故ニ政府ハ偶ニ此殖エテ來タ所ノ正貨ヲ此際ニ使ヒ盡サナケレバナラヌノデアルカ、國家ノ爲ニ不利益ナル高利公債ヲ新ニ發行シテマデモ、此正貨ヲ使ヒ盡サナケレバナラヌト云フコトガアリマセウカ、内地ノ金融調節ノ爲ト仰シヤイマス、我國ニハ中央銀行ガ存在シテ居ル、然ルニ此中央銀行ハ何故ニ此激増スル所ノ正貨ヲ悉ク己ノ手ニ收メルコトヲ厭フノデアリマスルカ、他所ノ中央銀行ハ出來ルダケ己ノ銀行ニ正貨ヲ集メルコトヲ努メテ居ルノデ、政府ハ日本銀行ヲ監督シテ居リナガラ何故ニ此際殖エテ往ク所ノ正貨ヲ厄介視スルヤダ、十分ニ我が中央銀行ヲシテ集メサセル手段ヲ取ラレナイノデアルカ、又唯今仰セニハ内地ノ金融ヲ調節スルト仰シヤイマスルガ、凡ソ内地ノ金融ヲ調節スルノ力ト云フモノハ一番中央銀行ニ存在シナケレバナラヌノデアリマセウガ、然ルニ我國ノ中央銀行ハ一昨年七月政府ノ、現内閣ノ成立シタル後ニ於テ募債、放資、輸入抑壓、通貨縮少、物價下落ノ政策ヲ主張セラレ、ソレト同時ニ金利ヲ二厘引上ゲテ、ソレ以來ハ中央銀行ノ金利ト云フモノハ不動ノ有様ニナツテ居ル、然ルニ大體民間ノ金融界ニ於ケル金利ハ如何デアリマスルカ、歐羅巴ノ戰亂勃發以來、我が中央銀行ハ民間ノ金融界トハ殆ド没交渉ノ狀態デアルデハアリマセウカ、中央銀行ニシテ民間ノ經濟界ト没交渉ノ狀態ニアツテ、如何ニシテ我が金融ノ調節ガ出來マセウ、高キ所ニ居ル者ハ下情ニ通ゼズト云フ俗諺ガアリマス、中央銀行ト雖モ經濟界ニ没交渉デアル、此金融界ヲ指導シ之ヲ調節シテ往クト云フコトハ不可能デアル、我が中央銀行ハ其初メ力微弱ニシテ常ニ保證準備發行ヲ本ニシ、其上ニ正貨ヲ積ンデ居ルト云フヤウナ狀態デアル、何故今日ハ正貨ヲ本ニスルカ、有ラユル正貨ハ隱スニ及バヌ、悉ク日本銀行ノ準備金ニシテ而シテ發行ノ力ヲ存在シテ、保證準備ノ發行ノ力ト云フモノガ、金融界ノ繁劇ニ從ツテ伸縮ノ力ヲ有ツノデアアル、其用ニ立タセルヤウニスルニハ常ニ之ニ餘力ヲ有タシテ置カナケレバナラヌ、然ルニ從來ハ常ニ先ヅ以テ保證準備ヲ致ス兌換券ヲ發行シテ、其上ニ正貨ヲ積ンデ調節スルヤウナ手段ヲ執ツテ居タノハ、未ダ其力ガ十分デナイカラデアリマセウ、然ルニ今日ハ政府ガ正貨ガ有リ餘ツテ困ルヤウナ政策ヲ執ルニモ拘ラズ、依然トシテ我が中央銀行ハ昔日ノ有様デアアル、而シテ口ニハ金融調節トカ、今日ノ變態ニ處スルカ仰シヤル、實行上ニ於テハ我が中央銀行ハ經濟界ト没交渉デゴザイマス、又大藏省ハ一局一課ノ如キ狀

態ニナツテ居ルノデアリマセウカ……

○議長(公爵徳川家達君) 高橋男爵ニ申上ゲマスガ、成ルタケ御意見デナク、單純ナル御質問ニ願ヒタイ

○男爵高橋是清君 承知シマシタ、是ハ大藏大臣ハ如何ニ御考ヘナサイマスカ、斯様ナ狀態ニ於テ金融ノ調節ガ出來ルト御考ヘニナルカ、又過日本議場ニ於テ私ノ御尋ヲシタル貿易ノ事ニ關シ其時御答ニナツタノハ、政府ハ輸入ノ防遏ハシナイ、輸入ヲ防遏スルナラバ例ヘバ關稅デモ上ゲルト云フヤウナ事ヲシナケレバナラヌ、サウ云フコトハシナイノデアアル、貿易ノ權衡ヲ維持スルコトニ努力スルノデアアル、ソレ故ニ輸出ヲ増進シテ以テ貿易ノ權衡ヲ維持スルコトニ努メルノヲ以テ政府ノ方針トスルノデアアツテ、決シテ輸入ハ防遏シナイト云フ御答辯デアッタ、併ナガラ正金銀行ハ昨年ノ九月頃マデ、戰爭以來正ニ我邦ノ利益ニナル所ノ爲替相場ヲ動カサズニ居ル、是ハ其前政府ヨリシテ、成ルタケ輸入ヲ抑ヘ輸出ニ便利ヲ與ヘルト云フコトガアッタ、其結果ニ依ツテ爲替相場ヲ直セバ輸出ガ不便ニナラウト云フヤウナコトカラ躊躇シタト云フヤウナコトヲ噫ニ聞キマスガ、ソレデ政府トシテハ其當時輸入ヲ抑ヘ、内國製造ヲ盛ンシテ外國品ニ代ツテ内國品ヲ用フルト云フコトヲ御獎勵ニナツタ、併ナガラ決シテ輸入ハ防遏シナイ、貿易ノ權衡ヲ維持スル爲ニ輸出貿易ヲ盛ンニスルノデアアルト云フコトデ、私ハ其御答辯ニ満足シテ之ヲ爲スニハ相當ノ御處置ガナケレバナラヌ、貿易ノ輸出ヲ圖ルニ付テ、ソレニ付テ矢張り先立ツモノハ資本デアリマセウ、幸ヒ正貨ガ激増シテ來タト云フ爲ニ、其力ニ依ツテソレヲ利用シテ、之ヲ以テ殖産興業發達ノ政策ヲ著々行ハセラルルノハ適當デアルト思フノデアリマスガ、サウ云フコトハ一向セズシテ放任シテ差支ナイ、唯増シテ來ル正貨ヲ棄テ置ケバ金融緩慢ニナルカラ、何トカシテ早く使ツテ仕舞ハナケレバナラヌト云フ御考デアアルノカ、其事ヲ伺ヒタイ、ソレカラ一ツハ畢竟政府ニ於テ徹底シタル所ノ殖産興業ノ政策ト云フモノガナイガ爲ニ今日デハ如何ナル弊害ヲ生ジタカ、唯株ノ價ガ高クナルト云フヤウナ騒動ヲ經濟界ニ惹起シテ居ル、サウ云フヤウナ投機心ノミヲ挑發サレテ來ル風潮デアリマスガ、將來我邦ノ外國貿易ハ今日マデノ政府ノナサレテ居ルヤウナ政策ヲ以テ、即チ是デ安心シテ政府ノ望マレル所ノ輸出入貿易ノ權衡ヲ維持シ、輸出超過ヲ順潮ニ維持シテ行ケルト御安心ナサルノカ否ヤ、其邊ヲ伺ヒタイ

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

以下ノ會議ヲ開キマス

午後零時三十一分休憩

午後一時三十五分開會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、休憩前ニ宣告イタシマシタ通り、是ヨリ第六ノ委員長報告ヲ煩ハシマス、議事日程第六、重要物產同業組合法中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告

重要物產同業組合法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十一日

右特別委員長

前田 正名

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔前田正名君演壇ニ登ル〕

○前田正名君 重要物產同業組合法中改正案ノ委員會ノ報告ヲ致シマス、委員會ハ二回程開カレマシタ、二回中ニ委員諸君ノ一人ノ闕席ナク、熱心ニ質問モ色々ゴザイマシタ、尙ホ意見モ澤山出マシタ、政府ノ方カラハ農商務大臣ノ大略ノ説明ガゴザイマシタ、尙ホ質問ニ向ッテハ岡商工局長ヨリ細カニ答辯ガアリマシタ、其他水產局長外政府委員ヨリ色々答辯ニ及ビマシタ、此法案ハ他ノ法案ト違ヒマシテ、委員諸君ヨリ政府委員ニ對シテ、今後ノ監督上尙ホ検査上ニ十分ノ注意ヲシ註文ヲシマシテ、政府モ能ク之ヲ了解セラレ、大多數ヲ以テ可決シマシタ、右報告ヲ申上ゲマス、尙ホ御質問等ガゴザイマスレバ、政府委員ヨリ、又不肖ヨリ申上ゲテ宜シウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○前田正名君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ……

○子爵一柳末徳君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○國務大臣(武富時敏君) 實ハ多ク御議論ノヤウデアリマシテ、ドノ部分ガ御質問カト云フコトヲ了解ニ苦シミマス、正貨ノ激増スルノヲ厄介視シテ、ソレヲ外國ニ渡ス工夫バカリスルノデナイカト云フ御説ノヤウデゴザイマシタガ、ソレハサウデハゴザイマセヌ、政府モ日本銀行モ勿論ノコトデゴザイマシタ、成ルベク正貨ヲ維持スルコトニハ十分ニ努力イタス積リデゴザイマス、又現ニ努力シツアルノデゴザイマス、併ナガラ或ル程度ヲ超エテ増加ヲ致シマスルト、經濟界ニ不利ノ影響ヲ來タスコトヲ恐レマスカラ、是ハ何トカ處分ヲシナケレバナラヌト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、即チソレガ今回ノヤウナ案ヲ提出スル理由デアリマス、ソレカラ貿易ニ對シテ云々ト云フ御説ハ、政府ハ政府ノ信ズル所ノ政策ニ依ッテ將來ノ貿易ニ對シテモ、決シテ不安ノ念ハ抱イテ居リマセヌ、政府ノ信ズル所ノ政策ヲ遂行スレバ我邦ノ貿易ニ對シテ相當ノ效果ヲ得ルコトト信ジテ居リマス

○男爵高橋是清君 モウ一言伺ヒタイ、唯今政府ノ信ズル所ノ政策ヲ遂行スレバ貿易ニ於テ他日ノ心配ハナイ、矢張り今日ノヤウナ狀態デ行ケルト云フ御確信ガアルノデアリマス、大藏大臣ノ過日云ハレル所デハ戰爭ガ濟メバ直チニ輸入超過ニナルト云フコトヲ度々仰シヤリマシタガ、政府ガ苟モ信ズル所ノ政策ニ依ッテ貿易ノ上ニ心配ガナイト仰シヤル以上ハ、戰爭ガ濟ンダラ直チニ輸入超過ニナッテ正貨ノ流出ガ甚シクナルト云フヤウナ御懸念ニナラナクテモ宜イノデアリマス、時ニ依ッテ大藏大臣ハ白ト云ヒ黒ト云フ、一向誠意ノアル所ガ分ラヌ、モウ少シク國事ニハ誠意ヲ範メテ、サウシテ我々誠意ノアルモノニ對シテ御答ニナッタラ宜カラウト云フコトヲ希望イタシマス

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 私ハ決シテ不誠意デ御答ヲシテ居ル譯デハゴザイマセヌ、十分誠意ヲ以テ御答ヲ致シテ居リマス、戰爭ガ濟メバ輸入超過ガ來ルト云フコトヲ斷言シタ覺ハゴザリマセヌ、若シ戰爭ガ終局スレバ或ハ輸入超過ノ趨勢ヲ見ルカモ知レマセヌ、ソコデ其場合ノコトモ考ヘテ置カナケレバナラヌト云フコトハ申シタヤウニ記憶シテ居リマス、戰爭ガ濟メバ直チニ輸入超過ニナルト云フコトヲ明カニ斷言シタコトハゴザイマセヌ、又斷言シ得ベキコトデモゴザイマセヌ、經濟狀態ノ變化ハ一ノ大藏大臣ガ如何トモスルコトハ出來ナイノデアリマスカラ、サウ云フコトヲ申シタ覺ハゴザイマセヌ

○議長(公爵徳川家達君) 此際休憩ヲ致シマシテ、午後ハ議事日程第六ヨリ

○議長(公傳徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○前田正名君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……

○議長(公傳徳川家達君) マダ第二讀會ガ濟ミマセヌ

○議長(公傳徳川家達君) 是ヨリ第二讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ問題ニ供シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公傳徳川家達君) 全部御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公傳徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ第二讀會ハ終リマシタ

○前田正名君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……

○子爵一柳末徳君 賛成

○男爵中川興長君 賛成

○議長(公傳徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公傳徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公傳徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、……第二讀會決議通りデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公傳徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公傳徳川家達君) 第七、明治四十年法律第十一號中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告

明治四十年法律第十一號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十一日

右特別委員長

伯爵松平 頼壽

貴族院議長公傳徳川家達殿

〔伯爵松平頼壽君演壇ニ登ル〕

○伯爵松平頼壽君 唯今議題ニ上リマシタ明治四十年法律第十一號中ノ改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告イタシマス、此委員會ハ十九日ニ開キマシテ、其他一日ト兩方デ結了イタシマシタ次第ゴザイマス、此法案ハ大シテムヅカシイ法案デモアリマセヌガ、唯癩病療養所ノ中ノ所員又ハ醫員ニ對シマシテ、收容サレマシタ患者ガ其命令ヲ聽カナイト云フ譯デアリマシテ、ソレヲ罰スル方法モアリマセヌ爲ニ、非常ニ自由ニ暴レテ困ルト云フ話モアルシ、又犯罪ヲ犯シマシタ者ニ對シテモ監獄ニ於キマシテハ病人ト致シテ刑ノ執行猶豫ヲスルト云フヤウナコトデアッテ、制裁ヲ加ヘルコトガ出來ナイカラ、已ムヲ得ズ所長ニ對シテ、所長ノ命令ヲ以テ必要ナトキニ懲戒又ハ檢束ト云フ方法ヲ用フルト云フコトニシタイト云フ法案デアリマス、此法案ハ此檢束懲戒ト云フコトハ唯今マデ感化院ニモ用ヒラレテ來タコトデアリマスカラ、此療養所ニ之ヲ所長ニ委シテモ差支ナイコトデアルト云フ政府カラノ説明デアリマシタ、又此中ニ沖繩縣ヲ除ク云々、沖繩縣ハ此法律ノ制定當時ニハ府縣制ヲ布イテアリマセヌデアリマシテ、所ガ此頃府縣制ヲ布カレマシテ、九州ノ普通ノ府縣ト同ジャウナ資格ニナッテ居リマスカラ、ソレ故ニ此法文中ニ之ヲ除クト云フコトノ説明デアリマス、委員會ハ去ル二十一日ニ此議案ニ付キマシテハ何ノ異議モナク可決ヲ致シタ次第デアリマス、質問等ニ付テハナカク、詳細シイ質問ヲ委員ノ方ミカラサレタ次第ゴザイマス、終ニ臨ミマシテ此決議ニ付テノ希望デアリマセヌガ、委員ノ或ル御方ヨリ出席政府委員ニ對シマシテ希望ヲ述べラレタコトガゴザイマス、ソレハ此癩病患者ト云フモノハ如何ニモ不具ナ、如何ニモ可憐想ナモノデアルカラシテ、成ルベク政府ノ方デモ誠意ヲ以テ、早ク之ヲ誠實ニ收容シテヤッテ、樂天地ニ置イテヤルト云フ方法ヲ執ッテ貫ヒタイト云フ御希望ガアリマシタ、出席政府委員モ御同意デアリマシテ、成ルベクサウ云フヤウニ努メテ居リマスト云フコトノ御答ガアリマシタ、委員會ノ經過ダケヲ御報告イタシマス

○議長(公傳徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公傳徳川家達君) 過半数ト認メマス

○伯爵松平頼壽君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ……

○伯爵柳原義光君 賛成

○伯爵奥平昌恭君 賛成

○子爵今城定政君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シ採決イタシマス、…委員長ノ報告通りデ御異存アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵松平頼壽君 直チニ三讀會ヲ開カレムコトヲ…

○伯爵柳原義光君 賛成

○伯爵奥平昌恭君 賛成

○子爵今城定政君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第三讀會ヲ開キマス、…第二讀會決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第八、賣藥法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

賣藥法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト決議セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十二日

右特別委員副委員長

男爵毛利 五郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔男爵毛利五郎君演壇ニ登ル〕

○男爵毛利五郎君 私ハ是ヨリ賣藥法中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告申上ゲマス、此委員會ハ開會ヲ致シマシタコトガ二回デゴザイマシテ、第一回ハ十八日ニ致シマシタ、其節ハ正副委員長ノ互選ノミニ止メテ置キマシタ、第二回ヲ二十二日ニ開會イタシマシテ、之ニ付キマシテ實ハ三宅君ガ委員長ニ當選セラレタノデアリマスガ、御不快デアリマシテ開會スルコトガ出來マセヌカラ、私ニ代理ヲスルヤウニ御依頼ガゴザイマシタ、ソレデ昨日午前中ニ於キマシテ第二回ノ會議ヲ開キマシタ、此案ハ御承知ノ通り衆議院提出ノ案デゴザイマシテ、唯極ク簡單ナ案デ、賣藥法ノ第六條ニ但書ヲ加ヘルト云フコトデゴザイマス、其但書ハ「但獸醫ニシテ家畜用ノ賣藥ヲ調製販賣スルハ此ノ限ニ在ラス」斯ウ云フノデ、即チ獸醫ニ特典ヲ與ヘルト云フ案デアリマス、此案ニ付キマシテ政府委員ノ意向ヲ聽キタイト云フコトカラ致シマシテ、内務省ノ政府委員ト農商務省ノ政府委員ノ出席ヲ請ヒマシタ所ガ、内務省ノ政府委員ダケ御出席ニナリマシテ、農商務省ノ政府委員ハ差支ガアリマシテ出席ヲセラレナカッタノデアリマス、但シ内務省ノ政府委員ヨリノ説明ニ依リマシテ本案ノ趣旨ガ能ク分リマシタ、政府ノ意向ヲ大體ニ於テ尋ネマシタラ、本案ニ付テハ異存ハナイト云フ賛成ノ意ヲ表セラレタ次第デアリマス、尙ホ進ミマシテ本案ノ改正ノ即チ理由ヲ承リマスルト、第六條ニハ「藥劑師、藥劑師ヲ使用スル者又ハ醫師ニ非サレハ賣藥ヲ調製シ販賣スルコトヲ得ス」斯ウ云フ本文ガアリマス、ソレニ付キマシテハ獸醫ガ家畜用ノ賣藥ヲ調製シ販賣スルコトガ出來ナイト云フ方ニナツテ居リマスカラ、特に此専門家ニ專門ノ賣藥ヲ調製サシテ販賣スルコトハ差支ナイコトデアアル、又至當ナコトデアラウ、又醫師ト云フ文字ニ付キマシテモ醫師ト云フ字ハ人類ノ醫師ト云フコトニ限ラレルヤウニナツテ參リマスカラ、此醫師ト云フ字ノ下ニ獸醫ト云フ者ハ含マナイヤウニナツタカラシテ、尙ホ斯ウ云フ箇條ヲ一箇條加ヘルコトガ必要デアラウ、斯ウ云フ衆議院ノ提出サレタ人ノ意志ニ政府モ同意サレタ譯デアリマス、ソレカラシテ今マデ獸醫ナル者ハ今マデノ賣藥法ニ依リマシテ、一切賣藥ヲ調製スルトカ、或ハ販賣スルト云フコトハ出來ナイノデアアルカト云フニ、サウデハナイ、此賣藥法ハ一昨年訂正サレマシテ、其前ニ既ニ免許ヲ受ケテカラニ賣藥ヲ調製シ、販賣シテ居ル者ハ既ニ既得權トシテカラニ、第六條ニ掲ゲタル人デナクテモ是ハ出來タノデアリマス、ソレデアリマス

カラ獸醫トシテ或ハ賣藥ヲ調製シ販賣シタコトモ既得權ヲ有ッテ居ル人ハ出來タノデアル、又素人モ斯ウ云フコトハ出來タヤウニ承ッテ居リマス、實際ドウ云フヤウナモノニナッテ居リマスカト云フコトヲ伺ヒマス、實際ハ大抵獸醫ガ處方箋ヲ拵ヘマシテ、サウシテ藥劑師又ハ藥劑師ヲ使用シテ居ル者ニ依頼シテ、其賣藥ヲ造ッテ居タト云フ次第デアリマス、ソレデ斯ウ云フコトノ説明ガ濟ミマシタ後ニ質問ニ移リマシタ、其質問ノ大體概略、重モナル點ヲ申上ゲマスルト、若シ此一項ヲ第六條ニ加ヘマスレバ、第六條ノ既ニ今マデ賣藥ヲ調製シテ賣ル所ノコトガ出來ル、即チ藥劑師又ハ藥劑師ヲ使用シテ居ル者、或ハ醫師ニ於テハ獸醫ノ即チ調製スル所ノ家畜用ノ賣藥ハ調製販賣スルコトハ出來ナイノデアルカト云フ質問ガアリマシタ、ソレニ對シテ政府ハ決シテサウ云フ譯デハアリマセヌ、矢張り今マデト同ジク、是ハ調製シ販賣シテ差支ナイト云フ答辯ガアリマシタ、其次ニソレナラバ獸醫ハ家畜用デナイ、當リ前ノ賣藥ヲ調製シテ販賣スルコトハ差支ナイカト云フ御質問ガアリマシタガ、之ニ對シテハ政府委員ハサウ云フコトハ當リ前ノ賣藥ガ……人類ニ對スル賣藥ハ調製シ販賣スルコトハ許サヌ、斯ウ云フ答辯ガアリマシタ、ソレカラ家畜用ノ賣藥ヲ殊ニ獸醫ナゾニ許シテ、澤山出來ルヤウニナレバ、取締ヲ嚴重ニシナケレバナラスト云フコトニ付キマシテモ、政府ハ出來ルダケ致シマスガ、當リ前ノ賣藥モ隨分困難デアルカラシテ、ナカ／＼出來ヌカ知レマセヌガ、出來ルダケノ力ヲ以テ取締ヲ嚴重ニスルト云フ御説ガアリマシタ、ソレカラ家畜ノ範圍ト云フコトニナリマス、ドコマデ家畜ヲ……如何ナル程度ノモノデアアルカト云フ御質問ガ出マシタガ、是ハ農商務省ノ政府委員ガ出席シテ居ラレマセヌカラ、此答辯ハ內務省ノ政府委員カラナカッタノデスガ、併シ衆議院ノ速記録ヲ見マス、矢張り牛トカ、馬トカ、豚トカ、山羊、或ハ鶏マデ這入ッテ居ルカト云フ質問ガアリマシタ、政府委員ハソレニ這入ッテモ構ハヌト云フ答辯ガアッタヤウニ思ッテ居リマス、極ク範圍ノ廣イ程度ヲ示サレテ居ッタヤウデアリマス、ソレカラ其次ハ一體今マデ家畜用ノ賣藥ハ種類ガ幾種類アルカト質問イタシマシタニ對シマシテ、殆ド三百種以上位ナ種類ガアルト云フ答辯ヲ承リマシタ、其中ノ殊ニ東京附近ニ於キマシテ免許ヲ受ケテカラニ家畜用ノ賣藥ヲ調製シ、販賣シテ居ルモノハ二三十種モアルト云フコトデアリマス、併シソレハ略々ドウ云フ性質ノモノカト尋ネテ見マス、殆ド小サイ家畜ニ對シテハ賣藥ト云フモノハ餘リ出テ居

リマセヌ、ソレデ重モニ牛馬ニ對スル內科外科ノ賣藥ヲ販賣サレルト云フコトガ許可ニナッテ居ルヤウデアリマス、ソレカラ衆議院ニ於キマシテノ速記録ヲ拜見シマス、委員會ノ中デ懇談會ト云フコトガ書イテアリマス、此懇談會ト云フコトニ付キマシテ質問ガ出マシタ、是ハ或ル委員ガ獸醫ダケニ賣藥ヲ調製シ販賣スル特權ヲ許スナラバ、齒科醫ニモ齒科ノ賣藥ヲ同様ニ調製販賣スルコト云フコトヲ茲ニ加ヘテハドウカト云フ話ガアッタヤウデアリマス、ソレハ段々相談ノ結果此必要ガナイト云フコトニナリマシテ、矢張り此案ノ儘デ委員會ヲ通過シ、本會モ通過シテ參タノデアリマス、ソレデ極ク僅ナ數同ノ質問デアリマシテ、別ニ此外ニ重立ッタ質問ハ出マセヌデシタガ、採決ノ結果此案ニ付キマシテハ、洵ニ獸醫ニ對シテ特權ヲ與ヘル、又山間僻地ニ於キマシテ、獸醫ガ斯ノ如キ賣藥ヲ調製シ販賣スルコトハ至極相當デアアル、又便利デアラウト云フ御説ノ下ニ滿場一致ヲ以テ可決サレマシタ、右御報告ヲ申上ゲマス、付キマシテ私ハ此案ニ付キマシテハ甚ダ簡單ナ案デゴザイマス、又政府委員モ同意シテ居ラレルノデアリマスカラ、茲ニ讀會省略ヲ以テ此案ヲ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○男爵田健治郎君 讀會省略賛成

○伯爵柳原義光君 賛成

○子爵青木信光君 賛成

○男爵南岩倉具威君 賛成

○小野田元熙君 賛成

○男爵北島齊孝君 賛成

○子爵野宮定毅君 賛成

○伯爵奥平昌恭君 賛成

○男爵德川厚君 賛成

○子爵野村益三君 賛成

○男爵高橋是清君 賛成

○江木千之君 賛成

○木村誓太郎君 賛成

○田島竹之助君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 毛利男爵ノ讀會省略ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス……原案ニ對シテ御異存ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第九、製鐵事業調査機關設置ニ關スル建議案、伯爵松平賴壽君外十名發議、會議、建議案ノ朗讀ヲ致サセマス

〔河井書記官朗讀〕

製鐵事業調査機關設置ニ關スル建議案

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

大正五年二月二十二日

發議者

伯爵松平 賴壽

子爵牧野 忠篤

男爵目賀田種太郎

石渡 敏一

贊成者

侯爵細川 護立

伯爵林 博太郎

子爵山口 弘達

子爵松平 康民

子爵本多 忠敬

子爵東坊城 德長

子爵冷泉 爲勇

子爵伊集院 兼知

子爵櫛笥 隆督

子爵榎本 武憲

子爵吉田 清風

子爵伊東 祐弘

子爵池田 政時

子爵清岡 長言

伯爵松平 直之

男爵高木 兼寛

谷 森 眞男

水野 鍊太郎

伯爵萬里小路通房

子爵伏原 宣足

子爵牧野 貞寧

子爵黒田 和志

子爵樋口 誠康

子爵松平 直平

子爵有馬 賴之

子爵堀河 護麿

子爵西大路 吉光

子爵京極 高義

子爵本多 忠鋒

子爵片桐 貞央

子爵丹羽 長徳

子爵八條 隆正

子爵岡部 長職

男爵田 健治郎

岡田 良平

伯爵柳澤 保惠

子爵大宮 以季

子爵京極 高德

子爵本多 實方

子爵稻垣 太祥

子爵青木 信光

子爵酒井 忠亮

子爵前田 利定

子爵井上 匡四郎

子爵水 野 直

子爵藪 篤 磨

子爵野村 益三

子爵米津 政賢

子爵立花 種忠

淺田 徳則

高崎 親章

男爵沖原 光孚

小松 謙次郎

男爵南岩倉 具威

男爵平野 長祥

男爵安場 末喜

男爵黒田 長和

男爵東 郷 安

橋本 圭三郎

田中 源太郎

依田仙右衛門

福島文右衛門

貴族院議長公爵徳川家達殿

製鐵事業調査機關設置ニ關スル建議

鐵ノ需用供給ニ關スル調査ヲ進行シ官民事業ノ調節ヲ圖リ製鐵事業ノ發達

ヲ期スルカ爲政府ハ宜シク調査機關ヲ設置セラルヘシ

右建議ス

〔岡田良平君演壇ニ登ル〕

○岡田良平君 唯今議題ニナッテ居リマス製鐵事業調査機關設置ニ關スル建

議案ハ伯爵松平賴壽君外十名ノ發議デゴザイマシテ、他ニ細川侯爵以下八十名

ノ贊成ヲ以テ提出ニナッタ案デゴザイマス、此案ハ先刻豫算委員長モ既ニ略々

御報告ニナッテ居リマス通リニ、豫算委員會ノ議場ニ胚胎シタル所ノ案デゴザ

イマス、豫算委員會ニ於キマシテハ製鐵所擴張ノ案ニハ同意ヲ表シマシタケ

レドモ……政府ノ執ル所ノ製鐵事業ノ政策ニ付テハ甚ダ満足ヲ致サヌ者ガゴ

ザイマシタノデゴザイマス、故ニ豫算委員會ニ於キマシテハ一方ニ於テ此製鐵

所ノ擴張ハ出來得ベキダケ短日月ノ間ニ完成シテ貫ヒタイト云フ希望ヲ述ベ

マスルト同時ニ、一方ニハ鐵ノ政策ニ付テハ尙ホ當局者ヲ促シテ適當ノ方法

ヲ執ルコトヲ圖ルト云フ意味ヲ以テ製鐵所ノ豫算ハ可決イタシマシタノデゴ

ザイマス、即チ本案ハ其趣旨ヲ以テ當局者ニ向ッテ事業ノ全般ニ涉ル所ノ政策

ヲ定メ、今日ノ急ニ應ジ將來ノ計畫ヲ立ツル爲ニ劃策スル目的ヲ以テ調査會

小野田 元熙

倉富 勇三郎

男爵村上 敬次郎

男爵阪井 重季

男爵伊東 義五郎

男爵中溝 徳太郎

男爵神山 郡昭

男爵安藤 直雄

藤田 四郎

木場 貞長

木村 誓太郎

廣瀬 滿正

堀 正一

下條 正雄

瀧川 辨三

松尾 廣吉

男爵後藤 新平

江木 千之

男爵山名 義路

男爵梨羽 時起

男爵宮原 二郎

男爵青山 元

男爵清水 資治

男爵藤堂 高成

木内 重四郎

ヲ設置スルコトノ要求ヲ致ス趣旨ヲ以テ、茲ニ建議案ヲ提出シタ次第デアリマス、申スマデモアリマセヌコトデゴザイマスガ、今日ハ我國ノ將來國運ノ發展消長ニ付キマシテ最モ大切ナル時機デアルト考ヘルノデゴザイマス、其際ニ當リマシテ政府ノ施設宜シキヲ得マシタナラバ我國ノ將來ハ大ニ望ムベキデアルト同時ニ、若シ此際ニ於テ施設宜シキヲ得マセヌナラバ、千載一遇ノ好機會ヲ逸シテ、將來ノ國運ノ爲ニ甚シキ不利ヲ招クコトニ相成ルデアラウト考ヘマスノデアリマス、最近ニ或ル協會ニ於テ調査イタシマシタ所ノ調査書ニ依ッテ見マスルト、歐洲諸國ハ此激烈慘澹タル戰爭ニ從事イタシテ居リマス同時ニ、戰後ノ經營計畫ニ付テハ非常ナル努力ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、就中獨逸ノ如キハ實ニ驚クベキ計畫ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、一方ニ於テハ獨逸、奧地利、「ブルガリヤ」、土耳其ヲ聯ネテ一大關稅同盟ヲ結ブト云フ劃策ヲシツアルト同時ニ、一方ニ於テキマシテハ各種ノ工場ヲシテ軍需品ノ製造等ニ關係シテ居リマスモノハ臨時軍事費ヲ以テマシテ之ヲ三倍四倍若クハ十倍ニマデモ擴張イタシテ居ルト云フコトデゴザイマシテ、此擴張ハ戰ヒ了レバ直チニ貿易品ヲ製造スルコトニ轉用シ得ルヤウニ計畫ガ致シテアルト申スコトデアリマス、左様イタシマシテ軍需品ニ關係ノナイ所ノ各種ノ工場ニ政府ハ督勵ヲ加ヘマシテ、依然トシテ製造ヲ繼續イタシテ居ルノデゴザイマス、是等ノ工場ニ於テキマシテ製造シテ今日其倉庫ノ中ニ積上ゲテアル所ノ品物ハ二百億馬克ニ達スルト申スコトデアリマス、即チ一たび戰爭ガ濟ミマシタナラバ此二百億馬克ノ商品ヲ直チニ恰モ大河ノ決シタルガ如クニ海外ニ之ヲ輸出シ、又非常ナル擴張ヲ致シマシタ所ノ工場ハ全力ヲ擧ゲテ製造ニ從事イタシマシテ、其生産品ハ矢張り海外ニ向ッテ之ヲ賣弘メルト云フ策ヲ立テテ居ルノデアリマス、即チ二年カ三年ニシテ此戰爭ノ爲ニ費シタ所ノ數百億ノ費用ト云フモノヲ取返ス所ノ計畫ガ既ニ今日最早熟シテ居ルノデゴザイマス、然ルニ英吉利、佛蘭西或ハ露西亞ノ如キ國ニ於テキマシテハ決シテ油斷ヲシテ居ラヌ、矢張り獨逸ノ此商業上ノ戰ニ對抗スル爲ニ非常ナル努力準備ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、一旦戰爭ガ濟ミマシタナラバ此現在ノ戰爭ヨリモ一層激烈ナル商賣上ノ戰爭ガ世界中アラユル方面ニ於テ起ルト云フコトハ最早何等疑フ所ハナイコトト存ズルノデアリマス、此際ニ當ッテ我國ハ如何ニ致シテ然ルベキモノデゴザイマセウカ、決シテ非募債主義ト申ス如キ無意味ノ言葉ニ因ハレテ徒ラニ消極主義ヲ執ッテ各省新事業ノ少キヲ以テ相誇ルト云フ

如キコトノ見ルベキコトハナイト考ヘマス、勿論現在ノ內閣ニ於テ斯様ナコトノナイト云フコトハ私確信シテ疑ヒマセヌ、必ズ內閣諸公ハ此戰時ニ對シ、又戰後ニ對シテ毫モ遺算ノナキ所ノ計畫ヲ定メテ、之ヲ著々實行スルコトニ向ッテ努力シテ居ラルルコトヲ我々ハ固ク信ゼムト欲スルノデゴザイマス、併ナガラ鐵ノ政策ニ付キマシテハ遺憾ナガラ現在ノ政府ノ執ラルル所ト云フモノハ此時局ニ應ジ又戰後ノ經營ニ對應スルニ足ラスト云フコトヲ茲ニ申上ゲルノハ甚ダ遺憾ニ堪ヘマセヌケレドモ、又已ムヲ得ヌト思フノデゴザイマス、今日此鐵ノ闕乏ト云フコトハ誠ニ著シイ事實デゴザイマシテ、總テノ鐵材ハ三割四割ノ騰貴ヲ致シテ居ルト云フコトデアリマス、而シテ或ル種類ノ鐵材ニ至リマシテハ如何ナル代金ヲ投ジテモ今日之ヲ購入スルコトハ出來ヌト云フヤウナ場合デアルト申スコトデアリマス、或ル造船所ニ於テキマシテハ既ニ船ハ殆ド完成ニ近ゾイテ居ルニ拘ラズ、僅カ一部ノ鐵材ヲ得ルコトガ出來ヌ爲ニ進水ラスルコトモ出來ヌト云フヤウナ狀態ニアルト申スコトデアリマス、併シ今日デハ尙ホ可ナリト申シテ宜シイガ、一年ノ先キヲ豫想シテ見マシタナラバ、ドウデゴザイマセウカ、或ル專門家ノ說ニ依リマスと云フト、モウ一年先キハ我國ハ鐵ノ供給ト云フモノハ殆ド絶エテ仕舞フ、即チ枝光製鐵所、此所デ供給スルヨリ外ニハ殆ド無クナッテ仕舞フト申スコトデアリマス、現在ハ或ハ溝ノ中ヲ浚ヒマシテ古鐵ヲ拾ヒマシタリ、様々ノコトラシテ拵ヘマシテ市場ヘ供給シテ居ルト云フ途ガ開ケテ居ルト云フコトデアリマスケレドモ、一年ノ後ニ至リマシテハ斯ノ如キモノモ悉ク盡キテ仕舞ヒマシテ、殆ド我々ハ日用品ヲ得ルノニモ困難スルト云フガ如キ狀況ニ達シヤセヌカト思フノデアリマス、斯ル場合ニ政府ハ果シテ如何ナル施設ヲシテ居ラレルノデゴザイマセウカ、過般來衆議院ニ於テキマシテモ亦貴族院ノ豫算委員會ニ於テキマシテモ屢々起リマシタ所ノ質問應答ニ依ッテ見マスレバ、遺憾ナガラ政府ノ施設ハ甚ダ不十分デアルト云フコトハ免レヌト思ヒマス、或ハ政府ハ言ハレルカ知レヌノデアリマス、斯ウ云フ場合デアレバコソ三千五百萬圓ノ大金ヲ投ジテ此製鐵所ノ第三擴張ヲヤルノデアアル、之ニ依ッテ今日ノ急務ニ應ジ、戰後ノ經營ニ當ル積リデアアル、斯様ナ御答ガアルカ知レマセヌガ、是ハ先刻豫算委員長カラ既ニ陳述ニナリマシタ通りニ、豫算委員會ニ於テキマシテ同僚ノ一人カラ陳述イタシマシタガ、決シテ今日ノ急ニ應ジ時局ニ對スル所ノ經畫ト認メルコトハ出來ナイノデアリマス、假令今日ノ時局ニナリマセヌデモ、

製鐵所ノ第三期擴張ト云フモノハ當然ヤラナケレバナラヌモノデアッテ、若シ其經畫ガ出來ナケレバ是ハ政府ノ怠ト申サナケレバナラヌ次第デアッタノデアリマス、今日之ヲ實行イタシマシタ所ガ決シテ是ハ時局ノ救済ト云フ意味ニハナラヌト云フコトハ殆ド疑ナイコトデハナイカト思ヒマス、第一此完成ハ六箇年ヲ要スルノデアリマス、此六箇年ノ末ニハ最早世界ガ或ハ鐵ノ供給過度ニ苦シムヤウナ時ニナルカモ知レマセヌ、決シテ六箇年ノ經畫ヲ以テ今日ノ急ヲ救フコトハ出來マセヌ、又其製鐵所ノ產出イタシマス所ノ鋼鐵ノ量ハドレ程アルカト申シマスルト、現在ニ於テ三十萬噸デアアル、ソレデ六箇年ノ經畫ニ依ッテ増加シテ六十萬噸出スト云フコトデゴザイマス、今日ノ三十萬噸ト云フモノハ百二十萬噸ニ對シテ四分ノ一ニ相當シテ居リマス、是ガ六箇年先キニナリマシタナラバ鐵ノ需要ハ増加イタシマシテ、十箇年間ニ付テ二倍増加スルト云フ比例ヲ取ッテ申シマスレバ、六箇年ノ後ニハ二百萬噸前後ニナルノデゴザイマス、サウ致シマスルト其中デ六十萬噸ノ鐵ヲ製造イタシマシテモ、矢張り殆ド四分ノ一前後ノ割合ニ過ギヌノデゴザイマス、決シテ之ヲ以テ戰後ノ經營策ト云フガ如キ名前ヲ與ヘルコトハ斷ジラ出來ナイモノト考ヘルノデゴザイマス、デ當局者ハ言ハレルニ製鐵所デハ六十萬噸シカ拵ヘナイノデアアルガ、去リナガラ大ニ民業ノ獎勵ヲ計ル積リデアアル、製鐵所擴張ハ第三期ヲ以テ打切ニシテ、其以外ハ民業ノ擴張ニ依ルノデアアル、斯ウ云フコトヲ當局者ハ申サレルノデアリマス、如何ニモ左様ナル御經畫デアルト思ヒマス、又サウナクテハナラヌト考ヘマスル、併ナガラサウスルニハ政府ハソレダケノ手段ヲ執ラナケレバナラヌノデアラウト思フ、其手段ハ何事デアアルカト申シマスルト第一ニ於テハ鐵石ノ供給ト云フコトニ付テ出來ベキダケ便宜ヲ計ラスケレバナラヌト思ヒマス、然ルニ其方面ニ於テ政府ガ今日マデ執ラレテ居ル所ハドウカト云フト、枝光ノ製鐵所ノ原料ヲ得ルガ爲ニハ相當御盡力ニナッテ居ルコトハ是ハ承知イタシテ居ルノデアリマス、併ナガラソレ以外ニ何等ノ御經畫モナキガ如クニ豫算委員會ニ於ケル應答ニ依ッテ了承イタシタノデゴザイマス、ノミナラズ漢冶萍公司ノ所有イタシテ居リマス所ノ此鐵石ハ他ニ之ヲ賣却スルコトヲ許サヌ、斯ノ如クニシテ如何ニシテ民業ノ發達ヲスルコトヲ期スルコトガ出來マセウカ、思フニ政府ノ努力如何ニ依リマシテハ日本海支那海ノ此海岸ニ鐵ノ原料ヲ供給スル所ノ場所ガ澤山アルト存ジマス、專門家ハ左様申シテ居リマス、之ヲ我國ノ製鐵ノ資料ニ供スルコト

ハ決シテ難事デハナイノデアリマス、今日ノ機會ヲ逸シタナラバ、ソレハ或ハ到底出來難イコトカ知レマセヌ、今日ノ機會ニ於テハ是ハ決シテ難事デハナイト思フノデアリマスガ、遺憾ナガラ政府ハ之ニ向ッテ十分努力ヲ盡シテ居ルト認メルコトガ出來ヌノデゴザイマス、次ニ民業ノ發達ヲ計ラムト欲スルナラバ、官業ノ施設ヲスルニモ之ニ應ジテ施設ヲシナケレバナラヌコトト存ズルノデゴザイマス、然ルニ枝光製鐵所ノ第三期擴張ト云フモノハ如何デゴザイマセウカ、果シテ民業ノ發達ヲ便ズルガ如キ經畫ニナッテ居リマセウカ、遺憾ナガラ然ラズト申サナケレバナラヌノデアリマス、何トナレバ此枝光製鐵所ノ第三期擴張ハ利益ヲ以テ擴張ノ資ニ充テルト云フコトニナッテ居リマス、其利益ハ何ホドルカト申シマス、大正五年度ニ於テハ五百何十萬圓、既ニ經常豫算ニ……通常豫算ニ舉ゲラレタル所ノ利益ガ五百萬圓アリマシガ、其上ニ更ニ五百萬圓ノ利益ヲ計上シテ、之ヲ以テ大正五年度ノ擴張ノ財源ニ充テルト云フヤウナコトニナッテ居ルノデアリマス、即チ今日若シ枝光製鐵所ニ投ジマシタ所ノ資金五千三百萬圓ニ對シテ計算イタシテ見マスルト、殆ド二割ノ利益ニ當ッテ居ルノデアリマス、其二割ノ利益ト申シマスモノハ普通會社ニ於テモ隨分高イ利益ト申サナケレバナラヌ、其利益ヲ以テ經畫ヲ致スト云フコトニナッテ居ル、其利益ヲ以テ經畫スルト云フコトデアリマスル以上ハ、自然此製鐵所ト云フモノハ利益ヲ取ルト云フコトニ專ニナラヌケレバナラヌ、是ハ已ムヲ得ヌコトデアラウト思ヒマス、斯様ナル意味ヲ以テ豫算委員會ニ於テ本員ハ當局者ニ質問ヲ致シマシタ、所ガソレニ對シテ當局者ノ答ハ、イヤ、今日ハ鐵ノ相場ハ騰ッテ居ル、故ニ自然ソレダケノ儲ケガアルノデ、決シテ當局者ハ殊更ニ物價ヲ引上ゲテ暴利ヲ貪ルト云フ意味デハ更ニナイノデアアルト云フコトヲ答ヘラレタノデアリマス、是ハ無論左様デゴザイマセウト思ヒマス、併ナガラ此製鐵所ノ經畫ハ如何デアアルカト申シマスルト、成ルベク利益ノアル品物ヲ製造スルコトニナッテ居ル、利益ノ品物ハ是ハ民間デモ隨分ヤルコトガ出來ル品物デアアル、左様ナ品物ヲ之ヲ大資本ヲ有スル官設製鐵所ニ於テ自ラ造リ出シテ賣リ出スコトニナリマシタナラバ、ドウシテモ私立製鐵所ハ發達スルコトガ出來ヌト思ヒマス、衆議院ニ於テモ此希望ヲ述ベテ居リマス、其希望ト申シマスノハ、此製鐵所ノ經畫ヲ變更シテ貫ヒタイト云フノガ一箇條デアッタト思ヒマス、ソレニ對シテ當局者ハ反對ノ意ヲ表シテ居ラレマス、デナセ反對ヲサレタカト申シマスレバ、今日若シ此經畫ヲ變

ジマシタラ必ズ利益ガ減ルニ相違ナイ、利益ガ減レバ擴張ノ財源ヲ失ッテ仕舞フト云フコトニナッテ仕舞フカラ、當局者ハ之ニ向ッテ絶對反對セラレタト思ヒマス、此經畫ヲ遂行スル上ニ於テハ是ハ當然ナコトト思フノデアリマス、ソレカラ又衆議院ノモウ一箇條ノ希望ハ製鐵所ニ於テハ成ルベク材料ヲ造リ出スト云フコトヲ努メテ、製品ヲ造ルト云フコトハ成ルベク手控ヘテ貰ヒタイ、斯様ナ希望デアリマス、之ニ對シテ當局者ハ同意ヲ表シテ居ラルル、蓋シ「成可」ト云フ二字ニ重キヲ置イテ居ラルルデアラウ、成ルベク製品ヲ少クシテ原料即チ鐵塊トカ、鐵片トカ、鋼塊トカ、鋼片トカ云フモノヲ造ルコトヲ努メル、成ルベクサウシテ呉レト云フノデアリマスカラ、當局者ハ成ルベクチャルト申サレルノデアリマセウ、去リナガラ此三千五百萬圓ノ利益ヲ生ミ出ス爲ニハ此衆議院ノ希望ト云フモノガ此際ニ於テハ到底實行スルコトハ出來ヌモノデアラウト思ヒマス、即チ鋼片トカ、鋼塊トカ云フモノヲ以テ重ナル製鐵所ノ製品トシテヤッテ參リマシタナラバ、決シテ三千五百萬圓ノ收益ヲ得ルト云フコトハ是ハ出來ナイノハ申サヌデモ分ッテ居ル話デアリマス、既ニ是ダケノ利益ヲ得ルコトヲ要スルトシマシタナラバ、衆議院ノ希望ト云フモノハ決シテ實行スルコトハ出來ナイノデアリマス、當局者ハ「成可」ノ二字ガゴザイマスルカラ、是ハ物差ニ掛ラヌ品物デアルカラ、直チニ同意セラレタモノデアラウト思ヒマス、要スルニ斯ノ如キ利益ヲ以テ財源トシテ擴張ヲ圖ルト申シマスル如キコトハ官立製鐵所ヲ設ケタ其趣旨ニ反スル譯デアル、斯様ナ計畫ニ依ッテ如何ニシテ民業ノ發達ヲ圖ルコトガ出來マセウカ、寧ロ民業ノ發達ヲ妨害スルト云フコトニナルノデアリマス、此六年計畫ヲ完成シタトキニハ漸ク我國ニ於テハ六十萬噸ノ鐵ノ供給ガ出來ルバカリデアアル、其六十萬噸ノ内デ二十萬噸ト云フモノハ銑鐵ヲ以テ支那カラ輸入シタモノデアアルカラ、正味四十萬噸ト云フモノシカ日本ニ於テハ鐵ノ製造ハ出來ヌト云フコトニ成リ行クノデアアル、斯様ナ計畫ヲ以テ決シテ戰時並ニ戰後ノ必要ニ應ズルト云フコトハ到底出得ベカラザルコトト思フノデアリマス

〔副議長侯爵黑田長成君議長席ニ著ク〕

故ニ我々ハ當局者ハ當ニ枝光製鐵所ノ一ツヲ以テ標準トセラレマセヌデ、更ニ廣ク日本全體ノ鐵ノ製作如何ト云フコトニ著眼セラレテ計畫ヲ立テラレムコトヲ希望スルノデアリマス、先刻目賀田男爵ノ御尋ニ對シマシテ農商務大臣ノ御答ガゴザイマシタ、目賀田男爵ノ御尋ハ此計畫ハ枝光製鐵所本位ノ計

畫デアアルカ、即チ枝光製鐵所ノ單純ナル擴張案デアアルカ、或ハ日本ノ鐵ノ製作ヲ如何ニスルカト云フ點カラ割出シタ其政策ノ一部分デアアルカト云フコトヲ御尋ニナリマシタトキニ、農商務大臣ハ是ハ單ニ枝光製鐵所ノ擴張案デアルト云フ御答ガアリマシタガ、ソレカラ後ニ應答ノ結果、此御答ハ段々ニ修正イタサレマシテ、大分意味ニ變ッテ參リマシタガ、私ハ此農商務大臣ノ不用意ノ間ニ起ッタ所ノ咄嗟ノ其答辯ト云フモノガ誠ニ真相ヲ得タモノト思フノデアリマス、即チ是ハ枝光ノ外ニハ眼中ニナイ案デ、製鐵所長官ダケノ案デアアル、斯様ニ考ヘルノデアリマス、ソレデ我々ハ政府ハ宜シク廣ク日本ノ鐵ノ政策如何ト斯ウ云フコトヲ考慮シテ計畫ヲ立テ、其計畫ハ枝光製鐵所ノ計畫ヲ變更イタシマシテ、先刻目賀田男爵ノ申サレマシタ如クニ枝光本位ノ計畫ハ之ヲ打破シテ、日本本位ノ計畫ニ改メラレムコトヲ希望イタスノデアリマス、斯様ナコトヲ致スニハ農商務省ニ於テ必シモ適當ナ技術家ガ有リ餘ッテ居ルト云フ譯デアリマス、適當ナ計畫家ガ十分ニアルト云フ譯デアリマスマイカラ、特ニ一ツ調査機關ヲ設ケマシテ、其調査機關ニハ成ルベク鐵ノコトニ明ルイ人、又全般ニ互ッテ考慮計畫ヲスルコトノ出來ル人ヲ網羅スルト云フコトニシテ、サウシテ鐵ノ政策全般ニ互ッテ方針ヲ定メ、サウシテ此時局ニ應ゼラレムコトヲ希望スルノデアリマス、尙ホ一言イタシタイコトハ、從來調査會ト申シマスルモノガ往々豫期スルガ如キ結果ヲ擧ゲルコトガ出來ヌコトガアリマス、ソレハドウ云フ譯デアアルカト申シマスルト、多ク其組織宜シキヲ得ヌト云フコトニ出ヅルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、或ハ甲ノ政黨カラ何人、乙ノ政黨カラ何人、或ハ貴族院カラ何人、衆議院カラ何人ト申スガ如キ、振合トカ權衡トカ云フコトニバカリ重キヲ置イテ、之ガ爲ニ尤大ナル無用ノ機關ヲ造リ出シマシテ、當局者ノ責任ヲ轉嫁スル意味ニ於テハ或ハ役ニ立ツカモ知レマセヌガ、其事業ヲ擧ゲテ往クト云フニ於テハ甚ダ效力ノ薄イ機關ガ從來往々アルノデゴザイマス、此製鐵事業ノ調査機關ハ斯様ナモノヲ豫期スルノデハゴザイマセヌ、成ルベク此道ニ堪能ナル人ヲ……必シモ多數ニ集メル必要ハアリマセヌ、少數デモ宜イト思ヒマス、最モ親切ナル最モ摯實ナル研究ヲ遂ゲテ貰ヒマシテ、サウシテ之ニ依ッテ政策ヲ確立セムコトヲ欲スルノデアリマス、尙ホ一言附加ヘテ置キタイコトハ、此貴族院ハ從來建議ト云フモノハ餘リ出サヌコトハ當局者ハ御承知ノ通りデアリマス、御互ニ相戒メテ決シテ此輕卒ノ建議ハ致シテ居リマセヌ、一會期

ニハ僅カ一ツ、若クハ一ツモ無イト云フヤウナコトガ往々アルノデゴザイマス、デ建議ヲ出シマスルトキニハ實ニ已ムヲ得ザルモノガアツテ始メテ此建議ヲ提出スルノデアリマス、故ニ建議ヲ提出シ之ヲ演壇ノ上デ説明シタルヲ以テ能事畢レリトハ貴族院議員ハ決シテ考ヘテ居ラスノデアリマス、貴族院議員ハ已ムヲ得ズシテ提出シタル所ノ建議ト云フモノハ必ず是ガ當局者ニ依ッテ實行セラルルト云フコトヲ豫期シテ提出イタスノデゴザイマス、是ハ念ノ爲ニ一言附加ヘテ置クノデアリマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 此際御諮リ致シマスコトガゴザイマス、銀行條例中改正法律案外二件特別委員長侯爵徳川頼倫君ヨリ委員會ヘ退席ノ要求ガゴザイマシタ、之ヲ許可シテ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナイト存ジマス

○男爵目賀田種太郎君 本員ハ建議ニ付キマシテ聊カ意見ヲ陳述イタシタウゴザイマス、是ニ先ダチマシテ一二農商務大臣ニ伺ヒタウゴザイマス、農商務大臣ニ伺ヒマスガ、此建議ニハ御反對デアリマスルカ御賛成デアリマスカ、ソレヲ伺ヒタウゴザイマス、第二ニ是ハ唯今岡田君ノ説明ニナリマシタ通り實ニ重大ナ問題デゴザイマス、此豫算ハ本員ヲ以テ言ハシメマスレバ未ダ盡サザル所ガアルト存ジマス、隨テ調査機關ノ調査ノ結果、豫算ノ實行ノ上ニ於キマシテハ多少ノ變更ヲ見ルガ當然ト存ジマス、是等ニ付テハ農商務大臣ノ御意見ハ如何デアルカ、此二點ヲ伺ヒマシタル後、本員ハ聊カ意見ヲ陳述イタシタウ存ジマス

〔議長公爵徳川家達君議長席ニ復ス〕

〔國務大臣河野廣中君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(河野廣中君) 目賀田男爵ノ御問ニ御答ヘ致シマス、此建議ニ付キマシテハ固ヨリ通過ノ上ハ尊重ヲ致シマシテ、ソレノ其手續ヲ致シマスル心得デアリマス、又單ニ此處デ今御尋ニ對シマシテ、第二ノ……第一ノ方ニ付キマシテモ單ニ今此處デ私ノ意見ヲ御問ヒデゴザイマスレバ反對ノ意思ハ持チマセヌノデゴザイマス、併ナガラ前申上ゲル通り、苟モ此建議デゴザイマスレバ、相當ノ手續ヲ經マセヌケレバナラス、此處デ私ガ此御答ヲ致スコトハ出來マセヌノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ次ニ委員會組織ノ後ノコトノ御尋デゴザイマスルガ、是ハ其御決定ノ後デナイト實ハ

御答ガ出來マセヌガ、此委員會組織ノ後ニ委員ノ御決定ノ後ニ於テ初メテ申上ゲベキコトト存ジマスルガ、併ナガラ此處デ概括シテ申上ゲレバ、目的ヲ……事業擴張ノ目的ヲ遂行スルニ付テ妨ノナイ限りハ是ハ宜シイコトト考ヘテ居リマス、是ダケ御答ヲ致シマス

○男爵目賀田種太郎君 甚ダ遺憾ニ存ジマスガ、本員ハ十分ニ御説明ヲ了得イタシ兼ネマス、併シ大體本員ノ伺ヒマシタル所ヲ徹底イタシタルモノトシテ、モウ本員ハ更ニ伺ヒマセヌ、從ッテ本員ハ意見ヲ陳述イタシタウゴザイマス、業ニ已ニ唯今岡田君ノ御發議ノ通りデゴザイマシテ、之ニ付テ多ク述ブル必要ハゴザイマセヌガ、唯此ニ於テ一言イタシタイノハ、從來貴族院ハ猥ニ建議ヲ致サヌ、唯國家ノ重大問題ノミニ付テ建議ヲ致シテ居ルノデアリマス、之ニ付キマシテハ既ニ曩ニ國民道德ニ關スル建議ヲ致シマシタ、國民道德ノコトヲ包含シテ建議ヲ致シテ居ル、或ハ又教育ニ關スル建議ヲ致シテ居リマス、皆何レモ本員ハ是ガ發議者タリ或ハ贊成者デアリマシタ、然ルニ政府ノ施設ハ常ニ建議ノ趣意ニ伴ハナイ、唯名ノミヲ採用セラレテ其實ハ舉ゲラレヌノデアリマス、デ其調査機關ノ如キモ之ニ充テラルル所ヲ見マスルト、或ハ單ニ或ル團體ノ代表者デアルトカ、或ハ老年高年ノ耆宿ノ人ノミヲ以テ之ニ充テラレマシテ、毫モ實際ニ關係ナキ人ヲ以テ組織セララルノデアル、是ハ既ニ岡田君ガ申述べラレマシタカラ、本員ガ喋々贅言ヲ須ヒル必要ハアリマセヌガ、サウ云フコトデアツテハ一向目的ニ副ヒマセヌカラ、ドウゾ此事ニ關シマシテ此建議ノ趣意ヲ容レラレテ、先ヅ第一ニ國防ノ上ニ付テ……軍政上陸海軍ノ行政上ニ付テ……陸海軍人以外ノ者ト雖モ意見ヲ有スル者、若クハ其他年來此事ヲ調査シテ居リ、若クハ鐵ノ經濟、鐵ノ行政若クハ一般ノ鑛山ニ關係ヲ有シテ之ニ從事スル如キ者ヲ以テ充テラルルガ必要ナルコトト考ヘマス、是等ニ付テ更ニ申シマスノハ甚ダ憚ルコトデアリマスガ、當局者ハ之ニ加ハラレナイヤウニ致シタイ、當局者ハ之ニ加ハル必要ハナイ、當局者ハ唯辯明者トシテ出席スレバソレデ宜イト思ヒマス、尙ホ此他ニモ數多申シタイコトハゴザイマスガ、本員ハ差控ヘマス、全體此建議ノ基ク所ノ豫算ハ本員敬禮ヲ以テ申シマスガ、實ハ一夜造リノ豫算デ甚ダ不當ナルモノデアリマス、故ニ其調査機關タル委員ノ選定ニ付テハ鄭重ニ御考ヘアラムコトヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ御發言ガ……

○子爵井上匡四郎君 議長

○議長(公爵徳川家達君) 井上子爵ハ何デゴザイマスカ

○子爵井上匡四郎君 調査機關ノコトニ付テ少シク意見ヲ述ベタイノデゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○子爵井上匡四郎君 先刻岡田君竝ニ目賀田男爵カラ御發言ガアツテ、調査機關ニ對シテ種々希望ヲ述ベラレマシタ、本員モ此點ニ付キマシテハ全然賛成デゴザイマス、唯今ガ鐵ノ政策ヲ定ムベキ唯一ノ好機會ダラウト云フコトハ實ニ岡田君ノ述ベラレタ通りデアリマス、之ニ依ッテ業ニ已ニ計畫サレツツアル起業ガ多クアルノデゴザイマス、此點ニ付キマシテ私ハ委員會ニ於キマシテ政府ノ調査ヲ要求イタシマシタガ、今日マデ未ダ其正確ナル報告ニ接シマセヌノデアリマスガ、私ノ聞キマス所ニ於テハ少クモ十二三ノ計畫ガアル如クニ思ヒマス、是ハ非常ニ大キナ起業ヲ今計畫中デアリマス、具體的デナイモノヲ除イテモ十二三ハアリマス、其中ノ十バカリハ少クモ確定的ノモノデアリマスと思ヒマス、是等ハ其材料ヲ得ルコトガ出來マセヌ爲ニ銑鐵ヲ取ッテ鋼ニ代ヘ、サウシテ其先キノ作業、即チ「ローリング」、ミル「ヲ造ッテ、サウシテ製品ニ造ルト云フ計畫ヲ致シテ居ルノデアリマス、是等ノ「ローリング」、ミル「ト云フモノハ相當ノ作業ヲ致シマスニハ銑鐵ト致シマシテ……既ニ我々ノ考ヘル所ニ依リマスルト十五六萬噸カラ、是ガ少シ一杯ニ働キマスト三十萬噸、若クハ四十萬噸ノ銑鐵ヲ要スル如キモノガ起業サレツツアルノデゴザイマス、ソレニ對シテ東洋ニ於キマシテ現今ノ狀態デハ銑鐵ヲ供給シ得ベキモノハ甚ダ少イガ如ク考ヘラレル、是等ノ起業者ト云フモノハ相當ノ銑鐵ヲ得ベキ所ノ見込ハ付ケテ居ラウト思フノデアリマスガ、大體カラ考ヘマストト甚ダ危殆ナ有様ニ瀕シテ居ルノデハナイカト懸念スル位デアリマス、國家トシテハ此場合ニ於テ是等ノ起業者ヲ失敗サセルコトナクシテ、是等ヲ撫育シテ、將來日本ノ製鐵額ヲ増シテ行クト云フコトヲ努メナケレバナラナイ時機デアラウト思ヒマス、又此製鐵政策ノ根本ニ立入りマスト云フト、本員カラ委員會デ述ベマシタル如ク、鑛石ノ問題ニ立至ルノデアリマス、此點ニ付キマシテハ調査機關ヲ政府ガ設定サレル場合ニ於キマシテハ、特ニ御注意下サレマシテ、斯ノ如キ點ニ付テ相當ノ知識ヲ持チ、趣味ヲ持ッテ居ル者ヲ特ニ網羅サレルコトヲ、特ニ希望シテ置キマス次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ニ付テ採決イタサウト存ジマス、本建議案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十ヨリ第二十二マデノ請願會議

「左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス」

意見書案

擊沈船奈古浦丸被害者救恤ノ件

富山縣射水郡新湊町平民海運業南島間作法定代理人野崎長良呈出
右ノ請願ハ請願人ノ所有ニ係ル汽船奈古浦丸ハ明治三十七年二月御用船ト爲スノ公命ヲ受ケ急遽任ニ就カムカ爲貨物陸揚ノ目的ヲ以テ小樽港ニ向ヒテ航海中敵艦ノ爲不法ニ擊沈セラレ請願人ハ莫大ノ損害ヲ蒙リタルモ求償ノ道ナキヲ以テ便宜救恤ノ方法ヲ講セラレムコトヲ議院ニ請願シ屢採擇セラレタルニ拘ラス未其ノ運ニ至ラス依テ特ニ事情ヲ憐察セラレ速ニ之カ恩命ニ浴セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

島根縣美濃郡東仙道村ニ郵便局設置ノ件

島根縣美濃郡東仙道村平民農寺井藤吉外二百十三名呈出
右ノ請願ハ島根縣美濃郡東仙道村ハ人口二千五百餘ニ達シ通信機關ノ必要ヲ感スルコト切ナルモノアルニ拘ラス未郵便局ノ設置ナク村民ノ不便尠少ナラサルニ依リ之カ不便ヲ除キ且貯蓄ノ便ヲ得シムル爲同村ニ郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

廣島江津間鐵道速成ノ件

廣島縣雙三郡三次町長桑原清之進外四十四名呈出

右ノ請願ハ廣島江津間ノ鐵道ハ山陰山陽兩道ヲ連絡シ獨交通ノ利便ヲ開發スルノミナラス沿道地方ニ於ケル產業ノ發達ヲ促シ且軍事上ニ重大ナル關係アルヲ以テ之カ施工ヲ議院ニ請願シ既ニ採擇セラレタルニ拘ラス未實行セラレス纔ニ廣島三次間ニ私設鐵道ノ開通ヲ見タルニ過キサルニ依リ三次江津間ノ鐵道ヲ第一期線ニ繰上ケ速ニ工事ニ著手セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

漁港及漁船避難港修築國庫補助ニ關スル件

愛媛縣越智郡宮窪村平民漁業村上紋四郎外一名呈出

右ノ請願ハ漁港及漁船避難港ヲ築造シ漁船遭難ノ慘禍ヲ除キ以テ遠洋漁業ノ發達ニ資スルハ目下ノ急務ナリト雖之カ修築ニハ多額ノ費用ヲ要シ到底微力ナル地方又ハ町村漁業組合ノ企及シ能ハサル所ナルヲ以テ此ノ目的ヲ達セシムル爲速ニ漁港及漁船避難港修築費國庫補助法ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

旭川區裁判所東旭川出張所設置ノ件

北海道上川郡東旭川村平民商萱津琴二外十九名呈出

右ノ請願ハ北海道上川郡東旭川村ハ同村ニ鄰接スル永山村當麻村及東川村ト共ニ近年著シク發展シ登記事件亦劇増シタル爲距離其ノ他ノ關係上旭川區裁判所ノ所管ニ屬セシメラルルノ不便不利ヲ感スルニ至リタルヲ以テ東旭川村民ハ爲ニ要スル廳舎ヲ寄附スヘキニ依リ同村番外地ニ此等諸村ヲ管轄スル旭川區裁判所出張所ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

福岡地方裁判所久留米支部權限復舊ノ件

福岡縣久留米市長若林卓爾外六名呈出

右ノ請願ハ政府カ福岡地方裁判所久留米支部ノ權限ヲ縮少セラレタルハ戶口多ク各種ノ取引殷盛ニシテ裁判事件ノ繁多ナル孰後國一市六郡ノ人民ヲシテ直接間接ニ各種ノ不便不利ヲ被ラシメ爲ニ生シタル國費ノ節約ハ到底人民ノ損失ヲ償フニ足ラサルニ依リ同支部ノ權限ヲ復舊セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

福島地方裁判所若松支部權限復舊ノ件

福島縣若松市大町堅町平民辯護士川島榮一郎外三十八名呈出

右ノ請願ハ政府ハ曩ニ福島地方裁判所若松支部ノ權限ヲ殺カレタル爲同支部管轄區域内ニ於ケル人民ノ不便不利夥多ニシテ國費ノ節約ハ到底之カ不利ヲ償フニ足ラサルニ依リ同支部ノ權限ヲ復舊セラレ少クトモ從前ノ如ク

民事事件ノ裁判ヲ開始セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

北海道紋別郡上湧別村ニ登記所設置ノ件

北海道紋別郡上湧別村平民農鈴木峰次外八百一名呈出
右ノ請願ハ北海道紋別郡上湧別村ハ近年長足ノ進歩ヲ爲シ戸口頓ニ増加スルニ至リ登記事件亦劇増シテ紋別郡内ノ取扱件數ノ半ニ達セルニ拘ラス登記所ヲ交通不便ナル紋別村ニ置カルハ村民ノ甚不利トスル所ナルヲ以テ村内ニ登記所ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

鮮魚賣買ニ關スル特別法制定ノ件

東京市日本橋區本船町魚問屋業白澤武平外四十五名呈出
右ノ請願ハ鮮魚ノ賣買ハ普通ノ商品ノ賣買ト其ノ狀態ヲ異ニスルモノアルヲ以テ之カ取締ニ付亦彼此大ニ異ラサルヘカラサルモノアリ然ルニ未適當ナル法規ノ存セサル爲不徳ナル者續出シ漁業者及荷主等ノ被害尠カラサルヲ以テ鮮魚賣買ノ紊亂セル實況ヲ調査シ速ニ信用取引ノ維持ニ必要ナル制裁ヲ付スル特別法規ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

青森縣西津輕郡木造町ニ區裁判所新設ノ件

青森縣西津輕郡木造町平民會社員市田忠八外十五名呈出
右ノ請願ハ行政整理ノ結果青森縣西津輕郡ヲ管轄セル鰯ヶ澤區裁判所及北津輕郡ヲ管轄セル五所川原區裁判所ヲ廢止セラレタル爲兩郡民ノ不便不利多大ナルヲ以テ兩郡ヲ一管轄區域トスル區裁判所ヲ西津輕郡木造町ニ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

海流調査實行ニ關スル件

大阪府泉北郡高石町士族大阪毎日新聞社長本山彦一呈出
右ノ請願ハ海洋ニ關スル事項就中海流ノ狀態ヲ調査スルハ最必要ナルニ拘ラス之カ部分的ノ研究ヲ爲スモノノ外未適當ノ機關ナキハ甚遺憾ナルヲ以テ大阪毎日新聞社ハ大正二年四月以來之カ調査ノ一端ニ資スル所アリシト雖斯種ノ事業ハ到底民間ノ經營ニ委スルニ適セサルニ依リ國家ノ事業トシテ繼續實行セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

岡山縣後月郡木之子村ニ郵便局設置ノ件

岡山縣後月郡木之子村平民公吏後藤冬太外九名呈出
右ノ請願ハ岡山縣後月郡木之子村ハ近年停車場ノ設置アリ商工業著シク發達シ郵便電信ノ事務劇増セルニ拘ラス之ヲ距離遠キ井原及小田ノ兩郵便局

ノ所管トセラルルハ村民等ノ甚不便トスル所ナルニ依リ同村ト縣主荏原ノ二箇村竝小田郡稻倉村トヲ管轄區域トスル三等郵便局ヲ木之子村大字東郷ニ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

京都府船井郡五ヶ莊村ニ無集配郵便局設置ノ件

京都府船井郡五ヶ莊村平民公吏山田喜代藏外六十五名呈出

右ノ請願ハ京都府船井郡五ヶ莊村ハ北桑田郡トノ交通ノ衝ニ當リ各種ノ事業發達シ郵便事務増加シタルニ拘ラス所轄殿田郵便局ヲ距ルコト遠ク當ニ一般通信事務上不便ナルノミナラス貯金納税等ノ便ヲ闕キ村民等ノ不利多大ナルヲ以テ同村役場附近ノ地ニ無集配郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

○議長(公爵徳川家達君) 總テ請願委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ本日ノ會議ハ終リマシタ、次ノ議事日程ハ決定次第御通知ニ及ビマス、本日ハ是デ散會イタシマス

午後二時四十二分散會